Print/Scan System(R)

KM-6330
プリンタオプション
使用説明書
＜機能編＞

はじめに

●本使用説明書について

本使用説明書＜機能編＞は Printing System に付属しているマニュアルです。使用説明書＜セットアップ編＞と合わせてお読みください。

本使用説明書は、プリンタ本体の設定方法、プリンタドライバのインストールおよびプロパティの操作方法について説明しています。

本使用説明書では Microsoft Windows の基本的な操作方法をご理解いただいていることを前提に説明しています。基本的な操作は Microsoft Windows のマニュアルをご参照ください。

●商標について

・プリスクライブ、PRESCRIBE 、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
・KPDL および KIR は、京セラ株式会社の商標です。
・Microsoft 、MS-DOS 、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・WINDOWS ME および Windows XP は、Microsoft Corporation の商標です。
・PCL 、PJL は、米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
・PostScript は、アドビ・システムズ社の登録商標です。
・Ethernet はゼロックス社の登録商標です。
・Novell 、NetWare は、Novell 社の登録商標です。
・セントロニクスは、Centronics Data Computer Corporation の商標です。
・IBM ならびに IBM PC-AT は、米国 IBM International Business Machines Corporation の商標です。
・Power PC およびマイクロドライブは IBM 社の米国、その他における商標です。
・TrueType 、AppleTalk は、米国 Apple Computer,Inc. の登録商標です。
・コンパクトフラッシュおよび CF は米国サンディスク社の商標です。
・PC-PR201/65Aは日本電気株式会社の製品です。
・VP-1000 はセイコーエプソン株式会社の製品です。
・本製品はウィンドリバーシステムズ社のリアルタイムＯＳ 統合開発環境 Tornado を用いて開発されました。
・本プリンタがエミュレートしている HP LaserJet の制御言語である PCL6 は、米国 Peerless Group が開発した互換システム PeerlessPrintXL を使用しています。PeerlessPrintXL は米国 Peerless Group (Redondo Beach, CA90278, U.S.A)の商標です。
・DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は(財)日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
・平成書体は(財)日本規格協会文字フォント開発普及センターの知的財産であり、京セラミタ株式会社が使用契約を締結し DynaLabInc. が開発したものです。
・本プリンタに登録されている全てのフォントは、Agfa Corporation からライセンスされたものです。
・Helvetica 、Palatino 、Times は 、Linotype-Hell AG. の登録商標です。
・ITC Avant Garde Gothic 、ITC Bookman 、ITC ZapfChancery 、ITC Zapf Dingbats は、International Type-face Corporation の登録商標です。
・AGFA Agfa 社の UFST™ および MicroType® を含みます。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中には TM および ® は明記しておりません。

IBM PROGRAM LICENSE AGREEMENT

THE DEVICE YOU HAVE PURCHASED CONTAINS ONE OR MORE SOFTWARE PROGRAMS (“PROGRAMS”) WHICH BELONG TO INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION (“IBM”). THIS DOCUMENT DEFINES THE TERMS AND CONDITIONS UNDER WHICH THE SOFTWARE IS BEING LICENSED TO YOU BY IBM. IF YOU DO NOT AGREE WITH THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS LICENSE, THEN WITHIN 14 DAYS AFTER YOUR ACQUISITION OF THE DEVICE YOU MAY RETURN THE DEVICE FOR A FULL REFUND. IF YOU DO NOT SO RETURN THE DEVICE WITHIN THE 14 DAYS, THEN YOU WILL BE ASSUMED TO HAVE AGREED TO THESE TERMS AND CONDITIONS.

The Programs are licensed not sold. IBM, or the applicable IBM country organization, grants you a license for the Programs only in the country where you acquired the Programs. You obtain no rights other than those granted you under this license.

The term “Programs” means the original and all whole or partial copies of it, including modified copies or portions merged into other programs. IBM retains title to the Programs. IBM owns, or has licensed from the owner, copyrights in the Programs.

1. License

Under this license, you may use the Programs only with the device on which they are installed and transfer possession of the Programs and the device to another party. If you transfer the Programs, you must transfer a copy of this license and any other documentation to the other party. Your license is then terminated. The other party agrees to these terms and conditions by its first use of the Program.

You may not:

1) use, copy, modify, merge, or transfer copies of the Program except as provided in this license;
2) reverse assemble or reverse compile the Program; or
3) sublicense, rent, lease, or assign the Program.

2. Limited Warranty

The Programs are provided “AS IS.”

THERE ARE NO OTHER WARRANTIES COVERING THE PROGRAMS (OR CONDITIONS), EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Some jurisdictions do not allow the exclusion of implied warranties, so the above exclusion may not apply to you.

SUPPLEMENT TO AGREEMENT FOR SOFTWARE BUNDLING AND DISTRIBUTION FOR ALDC

3. Limitation of Remedies

IBM’s entire liability under this license is the following;

1) For any claim (including fundamental breach), in any form, related in any way to this license, IBM’s liability will be for actual damages only and will be limited to the greater of;
   a) the equivalent of U.S.$25,000 in your local currency; or
   b) IBM’s then generally available license fee for the Program

This limitation will not apply to claims for bodily injury or damages to real or tangible personal property for which IBM is legally liable.
IBM will not be liable for any lost profits, lost savings, or any incidental damages or other economic consequential damages, even if IBM, or its authorized supplier, has been advised of the possibility of such damages. IBM will not be liable for any damages claimed by you based on any third party claim. This limitation of remedies also applies to any developer of Programs supplied to IBM. IBM’s and the developer’s limitations of remedies are not cumulative. Such developer is an intended beneficiary of this Section. Some jurisdictions do not allow these limitations or exclusions, so they may not apply to you.

4. General

You may terminate your license at any time. IBM may terminate your license if you fail to comply with the terms and conditions of this license. In either event, you must destroy all your copies of the Program. You are responsible for payment of any taxes, including personal property taxes, resulting from this license. Neither party may bring an action, regardless of form, more than two years after the cause of action arose. If you acquired the Program in the United States, this license is governed by the laws of the State of New York. If you acquired the Program in Canada, this license is governed by the laws of the Province of Ontario. Otherwise, this license is governed by the laws of the country in which you acquired the Program.

Agfa Japanライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。

2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Agfa Japanは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。

3. Agfa Japanの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。

4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。

5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がAgfa Japanからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Agfa Japanは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべてAgfa Japanに返却するか、または破棄するものとします。

6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。

7. Agfa Japanは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがAgfa Japanの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Agfa Japanは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

   当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。

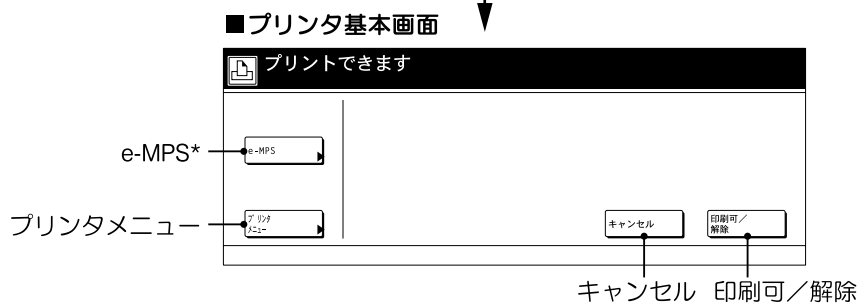
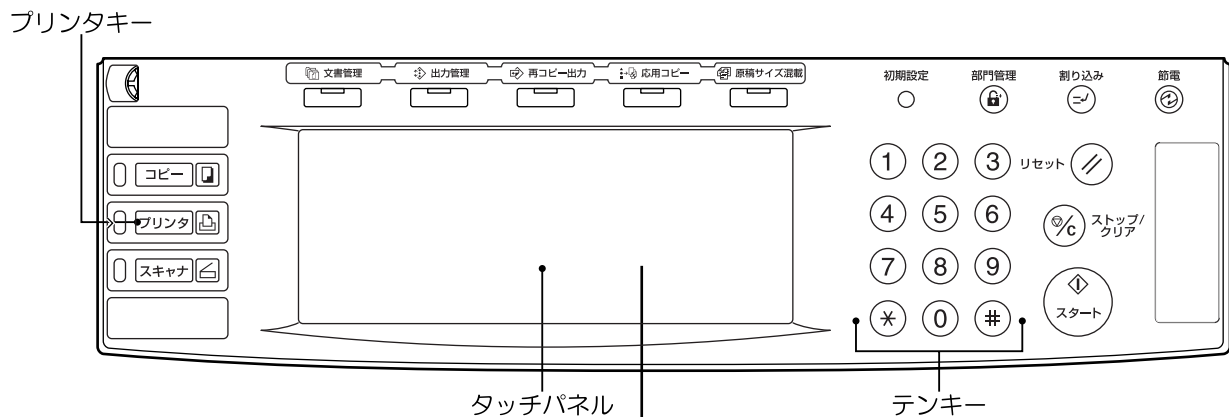
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段およびAgfa Japanの唯一の責任は、欠陥のある部品をAgfa Japanに返却した時点で修理または交換することです。いかなる場合もAgfa Japanは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。

9. 本契約はアメリカ合衆国ニューヨーク州の法律に準拠します。

10. お客様は、Agfa Japanの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。

11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の(b) (3) (ii) 項または (c) (1) (ii) 項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 (c) (2) 項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。

12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

1. 操作で使用するキー

* RAM ディスクの設定が“ON”か、オプションのハードディスク装着時に表示されます。

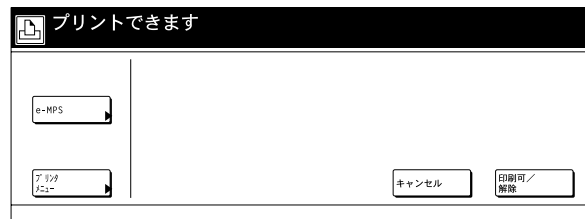
プリンタキー：プリンタモードに切り替わり、プリンタ基本画面が表示します。
テンキー：数値を入力するときに押してください。
タッチパネル：操作の手順や不具合、各種操作キーを表示します。

2. プリンタ設定の手順

1

プリンタキーを押してください。プリンタモードになります。

2

“プリンタメニュー”を押してください。「プリンタメニュー」画面が表示します。

3

設定したい項目を選択します。各項目は P3-1“3. メニュー階層図”を参照してください。

4

設定の変更を行います。各設定項目の内容は P4-1“4. プリンタの設定方法”を参照してください。

5

プリンタキーを押すと、プリンタモードが解除されます。

3. メニュー階層図

プリンタメニュー
ステータスページの印刷 4-1
インタフェースの選択 4-3
パラレルインターフェースの設定
パラレル送受信モードの設定 4-3
シリアルインタフェースの設定
ボーレートの選択 4-4
データビット長の選択 4-4
ストップビット長の選択 4-4
パリティの選択 4-4
プロトコルの選択 4-4
バーコードモードの選択 4-4
ネットワークインタフェースの設定
NetWareのオン／オフ設定 4-5
NetWare Frameの設定 4-5
TCP/IPのオン／オフ設定 4-5
DHCPのオン／オフ設定 4-5
IP Addressの設定 4-5
Subnet Maskの設定 4-6
Gatewayの設定 4-6
EtherTalkのオン／オフ設定 4-7
ネットワークカードのステータスページ出力設定 4-7

エミュレーションの設定 4-9
KPDL
KPDLエラー印刷モードの設定 4-9
KPDL (AUTO)
KPDLエラー印刷モードの設定 4-9
自動エミュレーション切り替えの選択 4-10
KC-GL
KC-GLページの設定 4-10
KC-GLペンの設定 4-10
FMPR-359F1
FMPRモードの設定 4-11
フォントの設定
ANKフォント
標準フォントの設定
フォントの選択 4-13
Courierフォントの設定 4-14
Letter Gothicフォントの設定 4-14
オプションフォントの設定
フォントの選択 4-13
漢字フォント
標準フォントの設定
フォントの選択 4-13
オプションフォントの設定
フォントの選択 4-13
コードセットの選択 4-15
標準フォントサンプルの印刷 4-15
オプションフォントサンプルの印刷 4-15

- 印刷環境

- 印刷品質の設定

- 用紙の設定

- RAMディスクの設定

- ハードディスクの設定
  - データの書き込み ―― 4-32
  - パーティションリストの印刷 ―― 4-32
  - ハードディスクのフォーマット ―― 4-32
  - データの読み込み ―― 4-33
  - プログラムデータの読み込み ―― 4-33
  - データの削除 ―― 4-34
  - フォントデータの削除 ―― 4-34
  - プログラムデータの削除 ―― 4-35
  - マクロデータの削除 ―― 4-35
- メモリカードの設定
  - データの書き込み ―― 4-38
  - パーティションリストの印刷 ―― 4-38
  - メモリカードのフォーマット ―― 4-38
  - データの読み込み ―― 4-39
  - フォントの読み込み ―― 4-39
  - プログラムデータの読み込み ―― 4-40
  - マクロデータの読み込み ―― 4-40
  - データの削除 ―― 4-41
  - フォントデータの削除 ―― 4-41
  - プログラムデータの削除 ―― 4-42
  - マクロデータの削除 ―― 4-42

- その他の設定
  - 改ページ待ち時間の設定 — 4-44
  - リソース保護モードの設定 — 4-44
  - 自動継続時の復帰時間の設定 — 4-45
  - 印刷範囲補正の設定 — 4-45
  - サービス用メンテナンスメニュー — 4-46
    - サービス担当者用ステータスページの印刷 — 4-46
  - プリンタのリセット — 4-46
  - 受信データダンプの設定 — 4-46

e-MPS ── e-MPSの設定

4. プリンタの設定方法

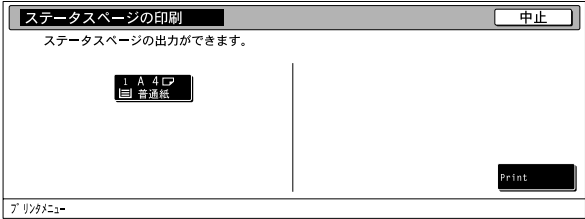
4-1 ステータスページの印刷

プリンタの初期設定やメモリ容量などを一覧で印刷します。

●ステータスページ印刷画面の表示

“ステータスページの印刷”を押してください。「ステータスページの印刷」画面が表示します。

①ステータスページの印刷

“Print”を押してください。ステータスページが印刷されます。

4-2 インタフェースの設定

インタフェースの設定の項目について

インタフェースの設定で設定できる項目は下表の 17 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

	設定内容	選択項目	備考
①	**インタフェースの選択** 使用するインタフェースを選択します。現在選択されているインタフェース名が反転表示されます。印刷時にはプリンタが自動的にインターフェースを切り替えます。	パラレル、シリアル、ネットワーク	
②	**パラレル送受信モードの設定** パラレルインタフェースでプリンタを接続したときの送受信モードを設定します。	自動、ノーマル、高速、 ニブル（高速）	
③	**ボーレートの選択**	1200、2400、 4800、9600、 19200、38400、 57600、115200	
④	**データビット長の選択**	7、8	
⑤	**ストップビット長の選択**	1、2	
⑥	**パリティの選択**	None、Odd、 Even、Ignor	
⑦	**プロトコルの選択**	DTR(positive)&XON/XOFF、 DTR(positive)、 DTR(negative)、 XON/XOFF、 ETX/ACK	
⑧	**バーコードモードの選択**	OFF、ON	バーコードリーダ装着時に表示
⑨	**NetWare のオン／オフ設定**	OFF、ON	
⑩	**NetWare Frame の設定** NetWare のフレームタイプを設定します。	自動、802.3, Ethernet II、802.2, 802.3 SNAP	NetWare のオン／オフ設定でオンを設定時に表示
⑪	**TCP/IP のオン／オフ設定**	OFF、ON	
⑫	**DHCP のオン／オフ設定**	OFF、ON	
⑬	**IP Address の設定**	ネットワークアドレスを入力	
⑭	**Subnet Mask の設定**	ネットワークアドレスを入力	
⑮	**Gateway の設定**	ネットワークアドレスを入力	
⑯	**Ether Talk のオン／オフ設定**	OFF、ON	

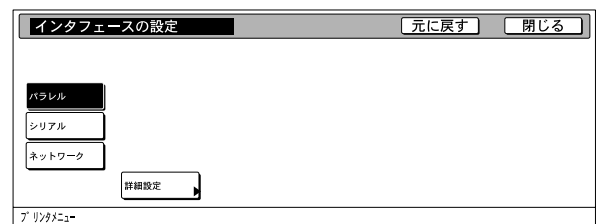
	設定内容	選択項目	備考
⑰	**ネットワークカードのステータスページ出力設定** ステータスページの印刷（P4-1）またはサービス担当者用ステータスページの印刷（P4-46）を実行時、プリンタのステータスページと一緒にネットワークカードのステータスページを出力します。サービス担当者用ステータスページの印刷では詳細なステータスページを出力することができます。	OFF、ON	

●インタフェース設定画面の表示

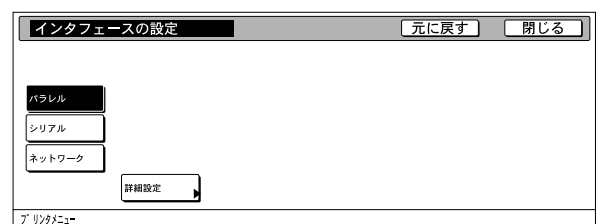
“インタフェース”を押してください。「インタフェースの設定」画面が表示します。

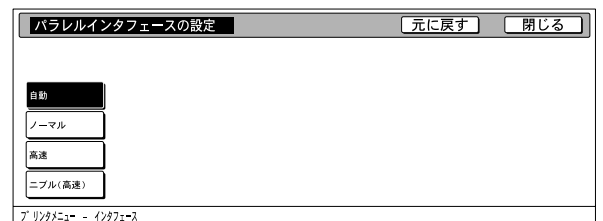
①インタフェースの選択

使用するインタフェースを選択し、“閉じる”を押してください。“詳細設定”を押すと選択したインタフェースに応じた設定画面が表示します。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

●パラレルインタフェースの設定

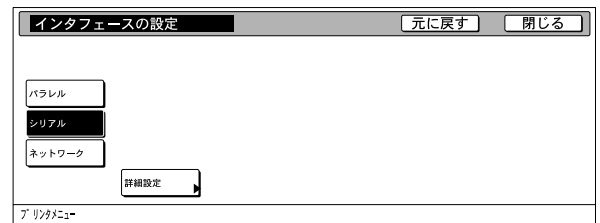
②パラレル送受信モードの設定

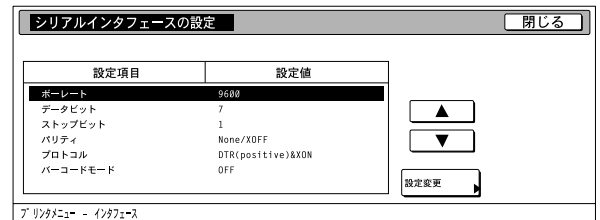
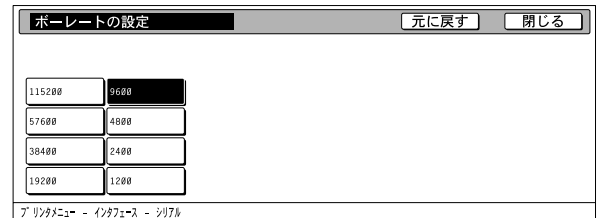
1 “パラレル”を選択して“詳細設定”を押してください。「パラレルインタフェースの設定」画面が表示します。

2 送受信モードを選択し、“閉じる”を押してください。「プリンタメニュー」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

●シリアルインタフェースの設定

1

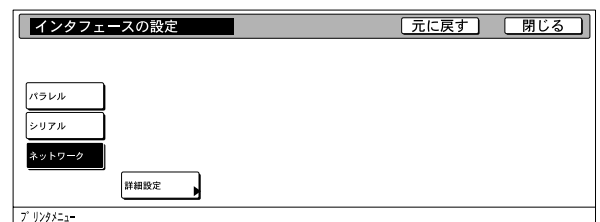
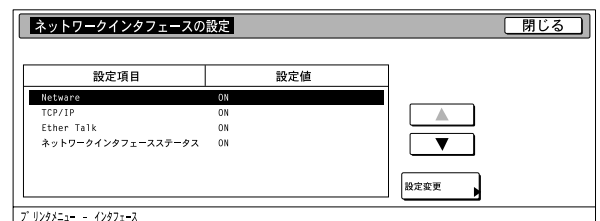
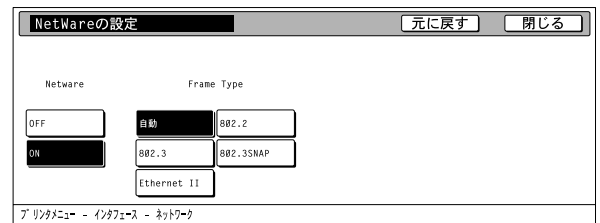
“シリアル”を選択して“詳細設定”を押してください。
「シリアルインタフェースの設定」画面が表示します。

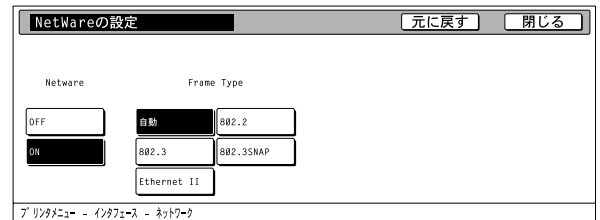
2

▲▼で設定項目を選択し、“設定変更”を押してください。
選択した設定項目の設定画面が表示します。
ボーレート：③ボーレートの選択
データビット：④データビット長の選択
ストップビット：⑤ストップビット長の選択
パリティ：⑥パリティの選択
プロトコル：⑦プロトコルの選択
バーコードモード：⑧バーコードモードの選択

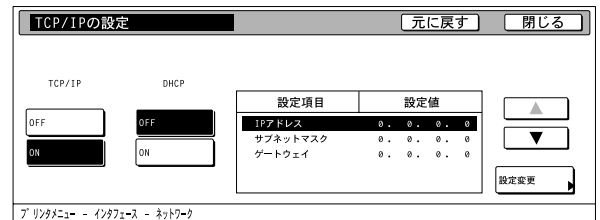
3

設定値を選択し、“閉じる”を押してください。「シリアルインタフェースの設定」画面に戻ります。

●ネットワークインタフェースの設定

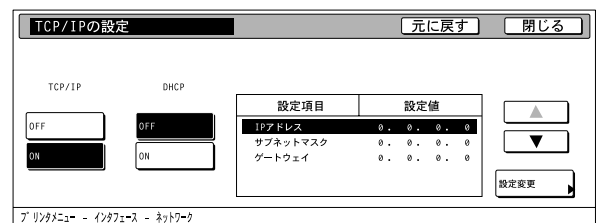
1

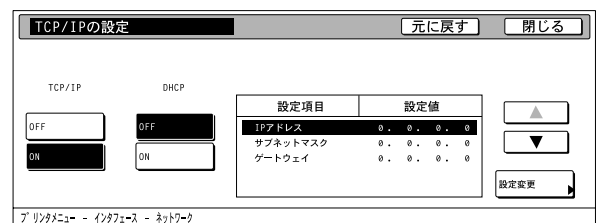
“ネットワーク”を選択して“詳細設定”を押してください。「ネットワークインタフェースの設定」画面が表示します。

2

▲▼で設定項目を選択し、“設定変更”を押してください。
選択した設定項目の設定画面が表示します。
Netware：⑨ NetWare のオン／オフ設定、⑩ NetWare Frame の設定
TCP/IP：⑪ TCP/IP のオン／オフ設定、⑫ DHCP のオン／オフ設定、⑬ IP Adress の設定、⑭ Subnet Mask の設定、⑮ Gateway の設定
Ether Talk：⑯ Ether Talk の設定
ネットワークインタフェースステータス：⑰ネットワークカードのステータスページ出力設定

⑨NetWare のオン／オフ設定

NetWare 項目で“ON”または“OFF”を選択し、“閉じる”を押してください。「ネットワークインタフェースの設定」画面に戻ります。
- “ON”を選択すると Frame Type 項が表示します。
- 設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑩NetWare Frame の設定

Frame Type 項でフレームタイプを選択し、“閉じる”を押してください。「ネットワークインタフェースの設定」画面に戻ります。
- 設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑪TCP/IP のオン／オフ設定

TCP/IP 項目で“ON”または“OFF”を選択し、“閉じる”を押してください。「ネットワークインタフェースの設定」画面に戻ります。
- “ON”を選択すると DHCP 項が表示します。
- 設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑫DHCP のオン／オフ設定

DHCP 項目で“ON”または“OFF”を選択し、“閉じる”を押してください。「ネットワークインタフェースの設定」画面に戻ります。
- 設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑬IP Adress の設定

1 TCP/IP 項目で“ON”を選択してください。

2 ▲▼で“IP アドレス”を選択し、“設定変更”を押してください。「IP アドレスの設定」画面が表示します。

3
テンキーでアドレスを3桁入力して#キーを押し、次の3桁を入力していきます。
・入力したアドレスを修正する場合は、#キーを押して修正したい3桁のアドレスを選択し、再度テンキーで入力してください。

4
アドレスの入力が完了したら“閉じる”を押してください。「TCP/IPの設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑭Subnet Maskの設定

1
TCP/IP項目で“ON”を選択してください。

2
▲▼で“サブネットマスク”を選択し、“設定変更”を押してください。「サブネットマスクの設定」画面が表示します。

3
IP Adressの設定と同じ手順でアドレスを設定してください。

⑮Gatewayの設定

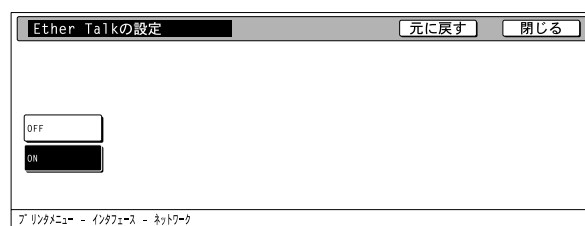
1
TCP/IP項目で“ON”を選択してください。

2
▲▼で“ゲートウェイ”を選択し、“設定変更”を押してください。「ゲートウェイの設定」画面が表示します。

3
IP Adressの設定と同じ手順でアドレスを設定してください。

⑯Ether Talk のオン／オフ設定

“ON”または“OFF”を選択し、“閉じる”を押してください。「ネットワークインタフェースの設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑰ネットワークカードのステータスページ出力設定

“ON”または“OFF”を選択し、“閉じる”を押してください。「ネットワークインタフェースの設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4-3 エミュレーションの設定

エミュレーションの設定の項目について

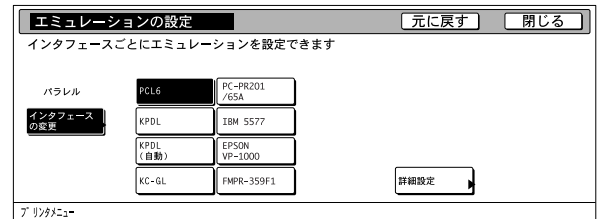
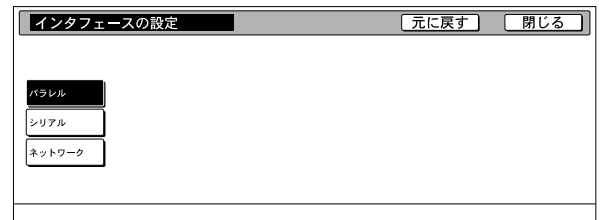
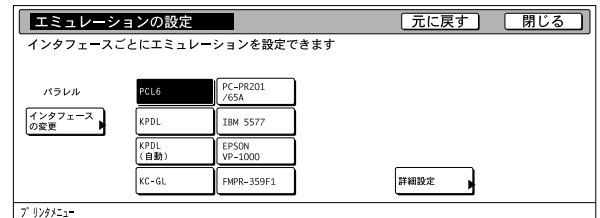
エミュレーションの設定で設定できる項目は下表の 6 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

	設定内容	選択項目	備考
①	**エミュレーションの設定** エミュレーションを選択します。	PCL6、KPDL、 KPDL（自動）、 KC-GL、 PC-PR201/65A、 IBM 5577、 EPSON VP-1000、 FMPR-359F1	インタフェースごとにエミュレーションを設定できます。 ※ KPDL、KPDL（自動）は オプションです。
②	**KPDL エラー印刷モードの設定** エミュレーションに KPDL または KPDL（自動）を選択した場合に、KPDL エラー発生時にエラーレポートを出力するかしないかを設定します。	OFF、ON	エラーレポートを出力する場合は ON に、出力しない場合は OFF に設定してください。 ※ KPDL はオプションです。
③	**自動エミュレーション切り替えの選択** エミュレーションに KPDL（自動）を選択した場合に、代替えエミュレーションを選択します。	PCL6、 PC-PR201/65A、 IBM 5577、 EPSON VP-1000、 FMPR-359F1、 KC-GL	※ KPDL はオプションです。
④	**KC-GL ページの設定** エミュレーションに KC-GL を選択した場合に、用紙を設定します。	A2、A1、A0、B3、 B1、B2、B0、SPSZ	
⑤	**KC-GL ペンの設定** エミュレーションに KC-GL を選択した場合に、ペンの種類とペン幅を設定します。	01 〜 99	
⑥	**FMPR モードの設定** エミュレーションに FMPR-359F1 を選択した場合に、FMPR モードを設定します。	FM、F9450	

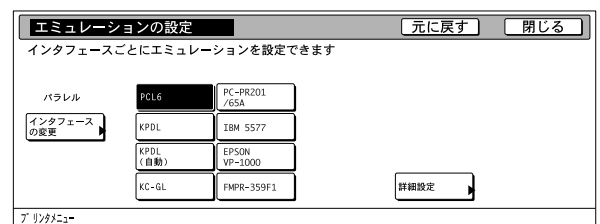
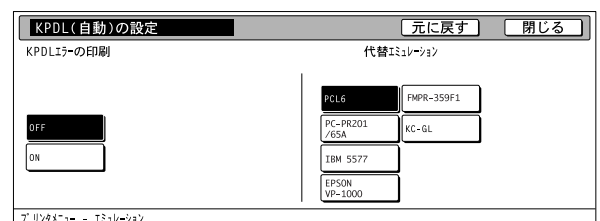
●エミュレーション設定画面の表示

“エミュレーション”を押してください。「エミュレーションの設定」画面が表示します。

①エミュレーションの設定

1 “インタフェースの変更”を押してください。「インタフェースの設定」画面が表示します。

2 インタフェースを選択し、“閉じる”を押してください。「エミュレーションの設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

3 使用するエミュレーションを選択し、“閉じる”を押してください。「プリンタメニュー」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

②KPDL エラー印刷モードの設定

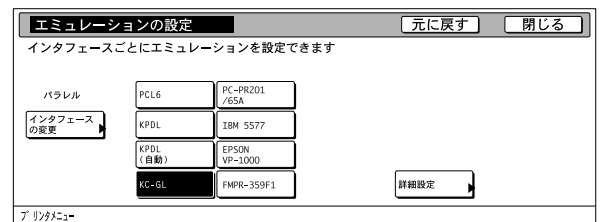
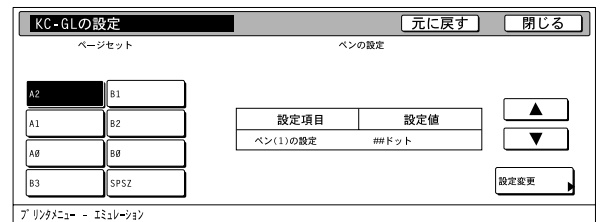
1 以下のエミュレーションの内、いずれかを選択して“詳細設定”を押してください。「KPDL の設定」画面または「KPDL（自動）の設定」画面が表示します。

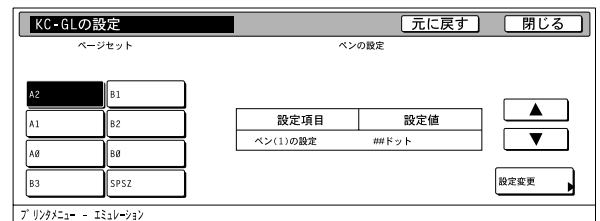
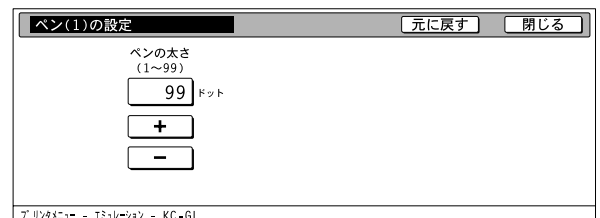
KPDL、KPDL(Auto)

2 KPDL エラーの印刷項目で“ON”または“OFF”を選択し、“閉じる”を押してください。「エミュレーションの設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

③自動エミュレーション切り替えの選択

エミュレーションに KPDL（自動）を選択した場合のみ、代替えエミュレーションの選択ができます。

代替エミュレーション項目でエミュレーションを選択し、“閉じる”を押してください。「エミュレーションの設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

④KC-GL ページの設定

1 エミュレーションに“KC-GL”を選択し、“詳細設定”を押してください。「KC-GL の設定」画面が表示します。

2 ページセット項で用紙を選択し、“閉じる”を押してください。「エミュレーションの設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑤KC-GL ペンの設定

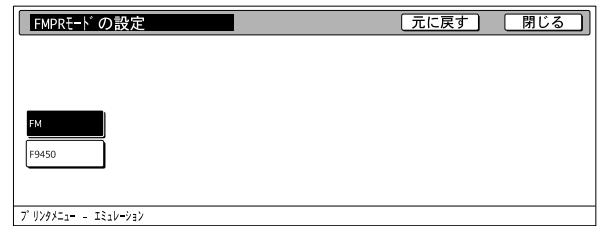
1 ページセット項で、▲▼でペンの種類を選択し、“設定変更”を押してください。ペンの太さを設定する画面が表示します。

2 ＋/ーまたはテンキーで数値を入力し、“閉じる”を押してください。「KC-GL の設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑥ FMPR モードの設定

1

エミュレーションに“FMPR-259F1”を選択し、“詳細設定”を押してください。「FMPR モードの設定」画面が表示します。

2

“FM”または“F9450”を選択し、“閉じる”を押してください。「エミュレーションの設定」画面に戻ります。

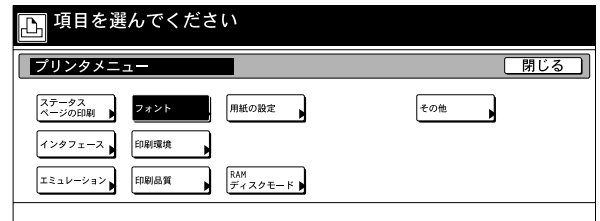
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4-4 フォントの設定

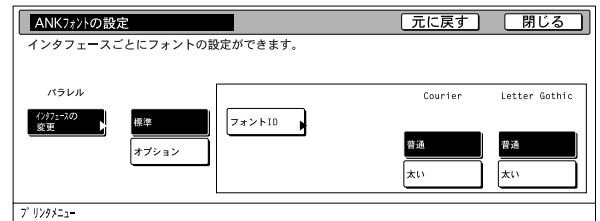
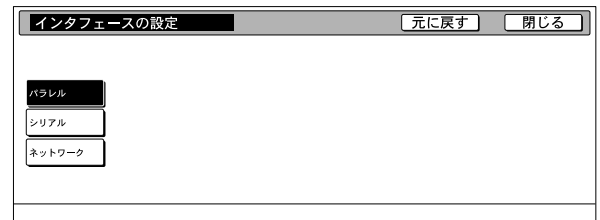
フォントの設定の項目について

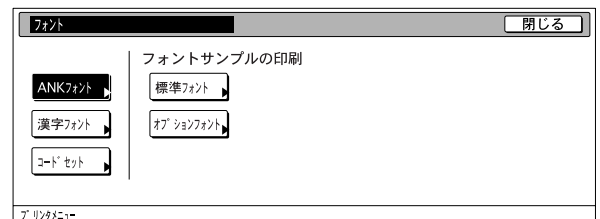
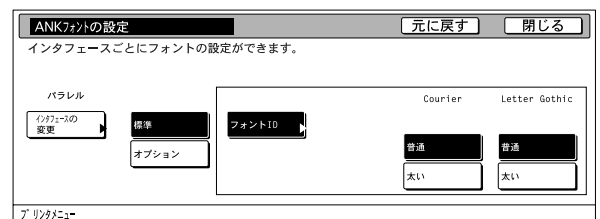
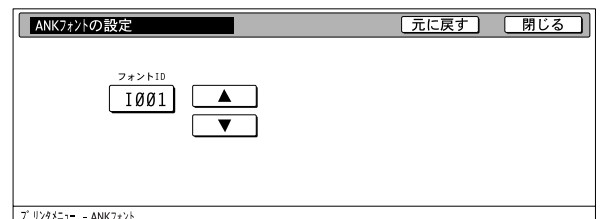
フォントの設定で設定できる項目は下表の 6 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

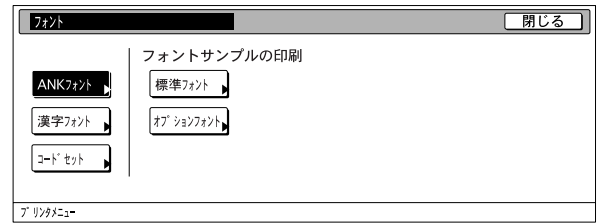
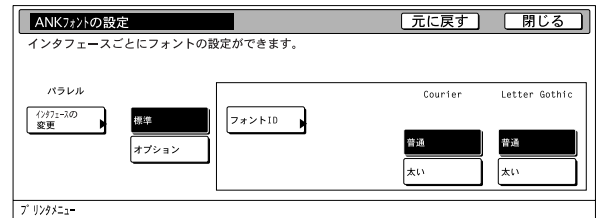
	設定内容	選択項目	備考
①	**フォントの選択** 印刷する ANK（アルファベット、数字、カタカナ）フォントおよび漢字フォントを選択します。選択はフォント ID を指定します。プリンタ内蔵のフォントを指定する場合は「I ###」または「IJ ##」（# はフォント ID）となります。フォント ID はフォントサンプルを印刷し確認することができます。内蔵フォント以外にもオプションのメモリカードにあるフォントなどを選択することもできます。 オプションフォントを指定する場合はフォント ID の表示は「SO ##」などのように、頭に付くアルファベットがオプションフォントの種類によって異なります。それぞれの意味は以下の通りです。 SO：ソフトフォント（ダウンロード） SJ：ソフトフォント（ダウンロード / 日本語フォント） MO：メモリカードフォント MJ：メモリカードフォント（日本語フォント） HO：ハードディスク /RAM ディスクフォント HJ：ハードディスク /RAM ディスクフォント（日本語フォント） OO：オプション ROM フォント OJ：オプション ROM フォント（日本語フォント）		ANK フォントまたは漢字フォントをインタフェースごとにフォント選択することができます。内蔵フォントを選択するときは標準を、内蔵フォント以外を選択するときはオプションを選択してからフォントを選択してください。
②	**Courier フォントの設定** 普通または太いを選択します。	普通 太い	ANK フォントで標準を選択したときに表示
③	**Letter Gothic フォントの設定** 普通または太いを選択します。	普通 太い	ANK フォントで標準を選択したときに表示
④	**コードセットの選択** エミュレーションが「PCL6」の場合、コードセットを選択できます。エミュレーションの選択はエミュレーションの設定（P4-9）で設定できます。		エミュレーションに「PCL6」選択時のみ、設定できます。
⑤	**標準フォントサンプルの印刷**		
⑥	**オプションフォントサンプルの印刷**		

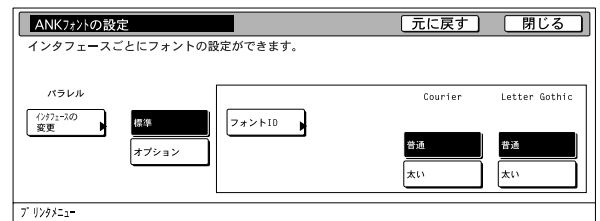
●フォント設定画面の表示

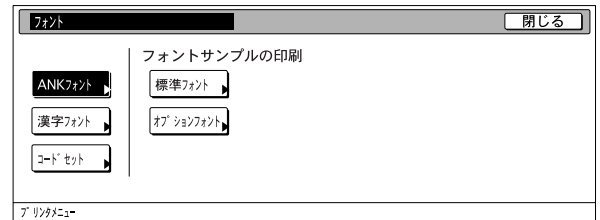
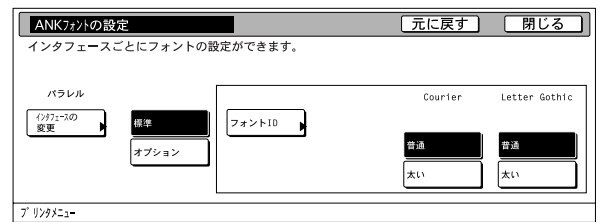
“フォント”を押してください。「フォントの設定」画面が表示します。

●インタフェースの選択

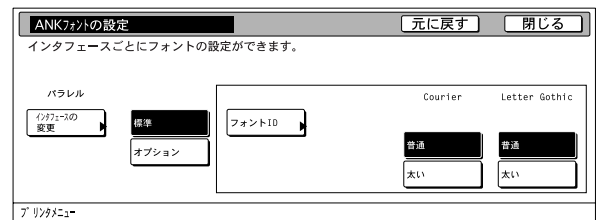
1 “ANK フォント”または“漢字フォント”を選択後、“インタフェースの変更”を押してください。「インタフェースの設定」画面が表示します。

2 インタフェースを選択し、“閉じる”を押してください。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

①フォントの選択

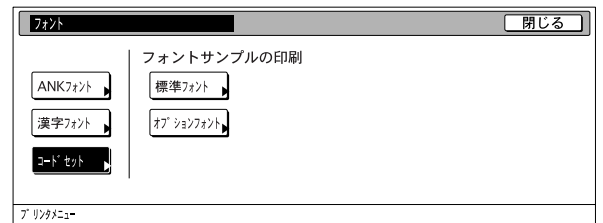
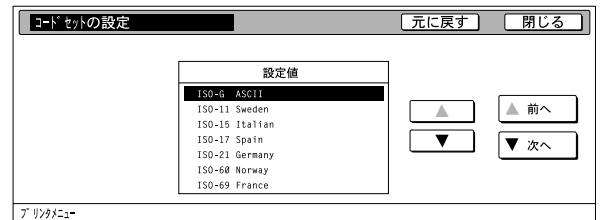
1 ANK フォントを選択するときは“ANK フォント”を、漢字フォントを選択するときは“漢字フォント”を押してください。

2 “標準”または“オプション”を押して、“フォント ID”を押してください。
・“オプション”は、メモリカード等にオプションフォントがあるときのみ表示します。

3 ▲▼でフォント ID を選択し、“閉じる”を押し、次の画面でもう一度“閉じる”を押してください。「フォント」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

②Courier フォントの設定

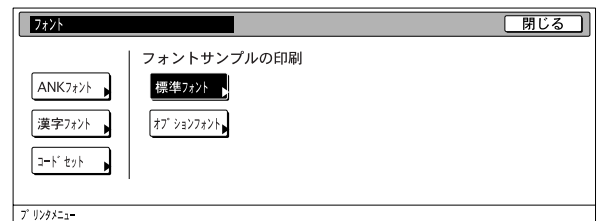
1 “ANK フォント”を押してください。

2 “標準”を押してください。

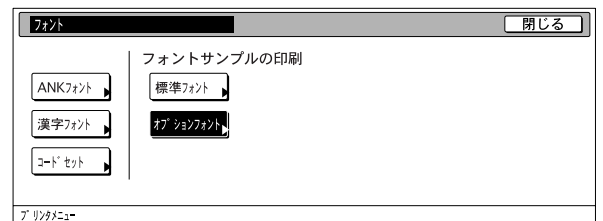
3 Courier 項で“普通”または“太い”を選択し、“閉じる”を押してください。「フォント」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

③Letter Gothic フォントの設定

1 “ANK フォント”を押してください。

2 “標準”を押してください。

3 Letter Gothic 項で“普通”または“太い”を選択し、“閉じる”を押してください。「フォント」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

④コードセットの選択

1 “コードセット”を押してください。「コードセットの設定」画面が表示されます。

2 コードセットを選択し、“閉じる”を押してください。「フォント」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑤標準フォントサンプルの印刷

フォントサンプルの印刷の“標準フォント”を押してください。標準フォントサンプルが印刷されます。

⑥オプションフォントサンプルの印刷

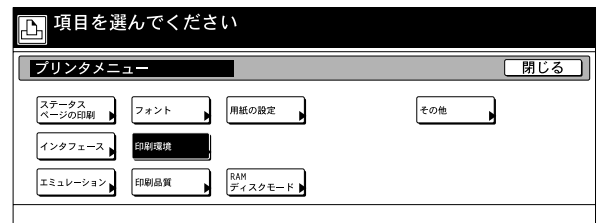
フォントサンプルの印刷の“オプションフォント”を押してください。オプションフォントサンプルが印刷されます。

4-5 印刷環境

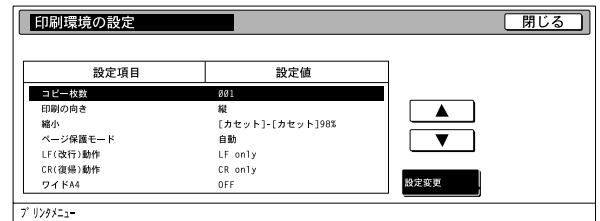
印刷環境の項目について

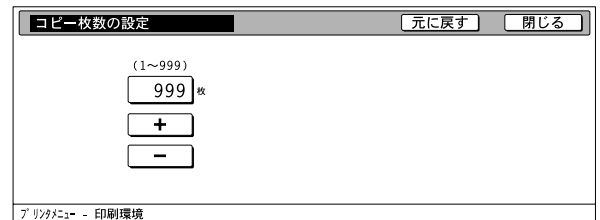
印刷環境で設定できる項目は下表の 7 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

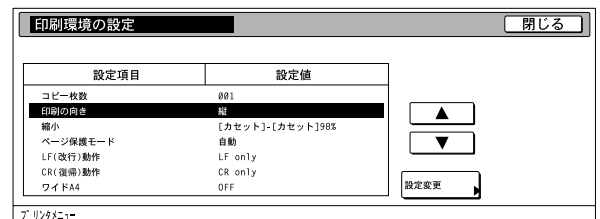
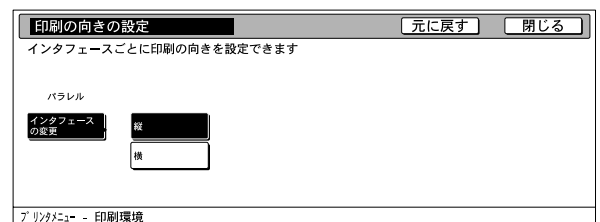
	設定内容	選択項目	備考
①	**コピー枚数の設定**	001 ～ 999	
②	**印刷の向きの設定**	縦、横	インタフェースごとに印刷の向きを設定できます。
③	**縮小印刷の設定** 用紙サイズ（原稿サイズ）と出力サイズを指定すると、固定倍率で縮小して、指定した出力サイズの用紙に印刷します。 用紙サイズ：カセット、11 × 17、8 1/2 × 14、8 1/2 × 11、5 1/2 × 8 1/2、A3、A4、A5、B4、B5、Folio、8 1/2 × 13、Stock Form	出力サイズは選択した用紙サイズで設定できるサイズのみ表示します。	用紙サイズに Stock Form を設定した場合、印刷の向きが縦か横かにより倍率が変わります。
④	**ページ保護モードの設定** 自動を選択すると Print Overrun Error が発生しないようにデータを監視し、必要なときにページ保護を行います。それでも Print Overrun Error が発生してしまった場合には、ON に設定が変わります。	自動、ON	
⑤	**LF（改行）動作の設定**	LF only, CR and LF, Ignore LF	インタフェースごとに LF（改行）動作を設定できます。
⑥	**CR（復帰）動作の設定**	CR only, CR and LF, Ignore CR	インタフェースごとに CR（復帰）動作を設定できます。
⑦	**ワイド A4 のオン／オフ設定** A4 サイズの印刷領域を拡大します。	OFF、ON	

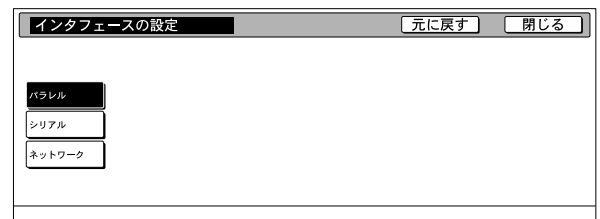
●印刷環境設定画面の表示

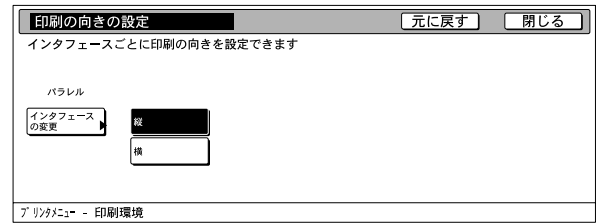
“印刷環境”を押してください。「印刷環境の設定」画面が表示します。

①コピー枚数の設定

1 ▲▼で“コピー枚数”を選択し、“設定変更”を押してください。「コピー枚数の設定」画面が表示します。

2 ＋/－またはテンキーで数値を入力し、“閉じる”を押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。

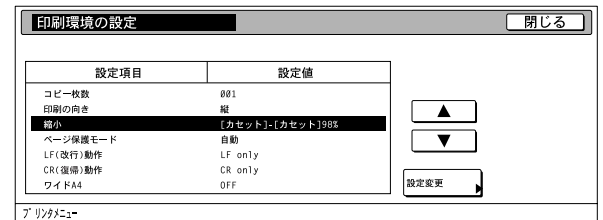
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

②印刷の向きの設定

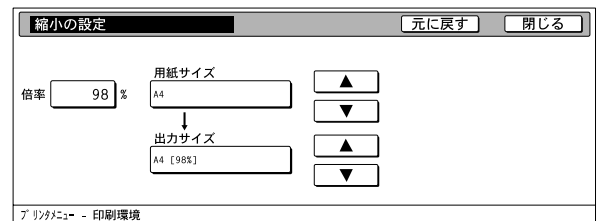
1 ▲▼で“印刷の向き”を選択し、“設定変更”を押してください。「印刷の向きの設定」画面が表示します。

2 “インタフェースの変更”を押してください。「インタフェースの設定」画面が表示します。

3 インタフェースを選択し、“閉じる”を押してください。「印刷の向きの設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4

印刷の向きを選択し、“閉じる”を押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

③縮小印刷の設定

1

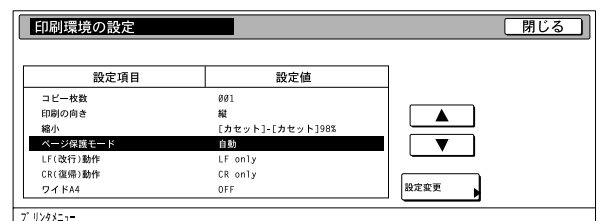
▲▼で“縮小”を選択し、“設定変更”を押してください。「縮小の設定」画面が表示します。

2

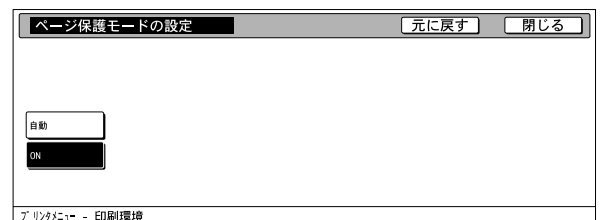
▲▼で用紙サイズと出力サイズを選択します。縮小倍率を自動設定し、表示します。

3

“閉じる”を押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

④ページ保護モードの設定

1

▲▼で“ページ保護モード”を選択し、“設定変更”を押してください。「ページ保護モードの設定」画面が表示します。

2

“自動”または“ON”を選択し、“閉じる”を押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑤LF（改行）動作の設定

1 ▲▼で“LF（改行）動作”を選択し、“設定変更”を押してください。「LF（改行）動作の設定」画面が表示します。

2 “インタフェースの変更”を押してください。「インタフェースの設定」画面が表示します。

3 インタフェースを選択し、“閉じる”を押してください。「LF（改行）動作の設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4 LF（改行）動作を選択し、“閉じる”を押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。

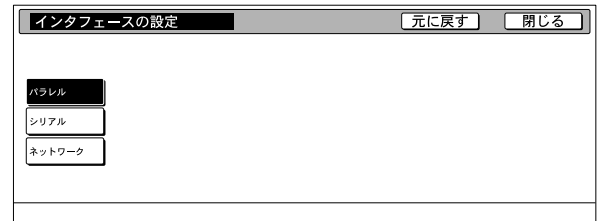
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

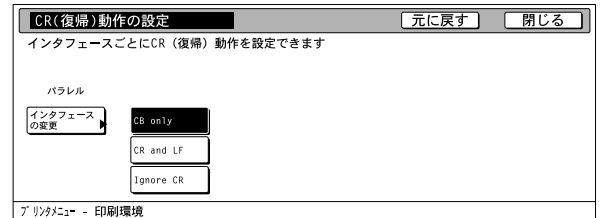
⑥CR（復帰）動作の設定

1 ▲▼で“CR（復帰）動作”を選択し、“設定変更”を押してください。「CR（復帰）動作の設定」画面が表示します。

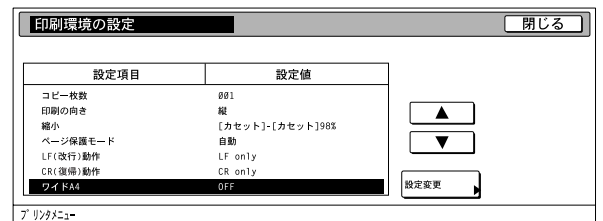
2 “インタフェースの変更”を押してください。「インタフェースの設定」画面が表示します。

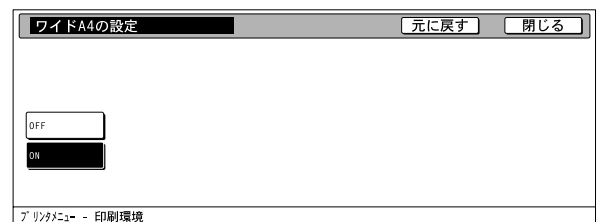
3

インタフェースを選択し、“閉じる”を押してください。「CR（復帰）動作の設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4

CR（復帰）動作を選択し、“閉じる”を押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑦ワイド A4 のオン／オフ設定

1

▲▼で“ワイド A4”を選択し、“設定変更”を押してください。「ワイド A4 の設定」画面が表示します。

2

“ON”または“OFF”を選択し、“閉じる”を押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4-6 印刷品質の設定

印刷品質の設定の項目について

印刷品質の設定で設定できる項目は下表の 4 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

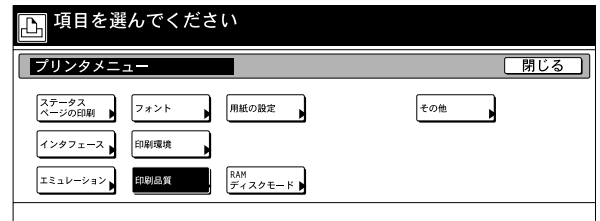
	設定内容	選択項目	備考
①	**KIR モードのオン／オフ設定** スムージング処理により 2400 dpi 相当× 600 dpi の印刷品質を実現します。	OFF、ON	
②	**エコプリントのオン／オフ設定** 省トナーモードで印刷できます。印刷品質を必要としない試しだしのときなどに設定してください。	OFF、ON	
③	**解像度の設定**	Fast 1200 モード、300 dpi、600 dpi	

●印刷品質設定画面の表示

1

“印刷品質”を押してください。「印刷品質の設定」画面が表示します。

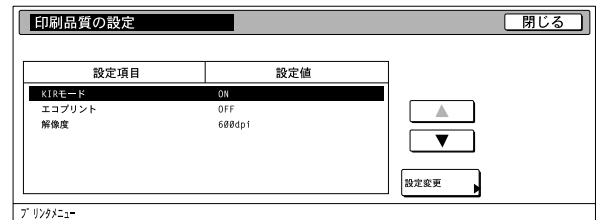
項目を選んでください
プリンタメニュー 閉じる
ステータスページの印刷 フォント 用紙の設定 その他
インタフェース 印刷環境
エミュレーション 印刷品質 RAMディスクモード

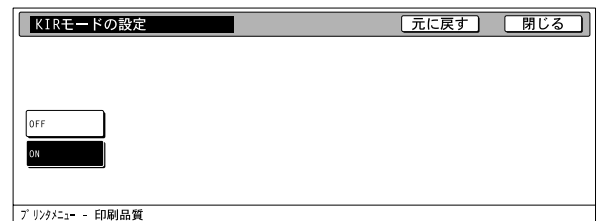
2

▲▼で設定項目を選択し、“設定変更”を押してください。選択した設定項目の設定画面が表示します。

KIR モード：① KIR モードのオン／オフ設定

エコプリント：②エコプリントのオン／オフ設定

解像度：③解像度の設定

3

設定値を選択し、“閉じる”を押してください。「印刷品質の設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4-7 用紙の設定

用紙の設定の項目について

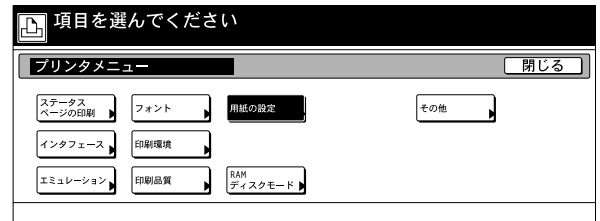
用紙の設定で設定できる項目は下表の 7 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

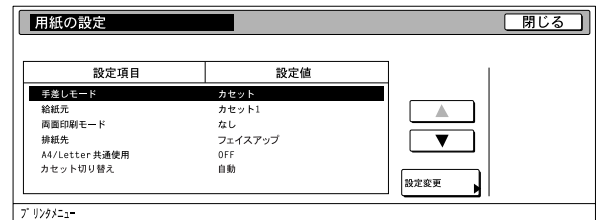
	設定内容	選択項目	備考
①	**手差しモードの設定** 優先を選択した場合、手差しに用紙がセットされているときは、手差しから給紙します。	カセット、優先	
②	**給紙元の設定** 最初に選択されている給紙段を設定します。	手差し カセット 1 カセット 2 カセット 3 カセット 4	カセット 4 はサイドフィーダ装着時のみ表示
③	**両面印刷モードの選択**	なし、長辺とじ、短辺とじ	
④	**排出先の設定** 用紙の排出先を設定します。	フェイスアップ、 フェイスダウン、 トレイ A（××）、 トレイ B（××）、 マルチトレイ××	本体に新たにオプションを装着することで、排出先の選択項目が変わります。
⑤	**A4/Letter 共通使用のオン／オフ設定** A4 サイズと Letter（8 1/2 × 11）サイズを共通使用可能なサイズとして設定することができます。	OFF、ON	
⑥	**カセット切り替えの設定** 同じサイズと向きの用紙がセットされているカセットが 2 つ以上あって、印刷中に 1 つのカセットの用紙が無くなったとき、自動的に別の同じサイズの用紙がセットされているカセットに切り替えて給紙します。	なし、自動	

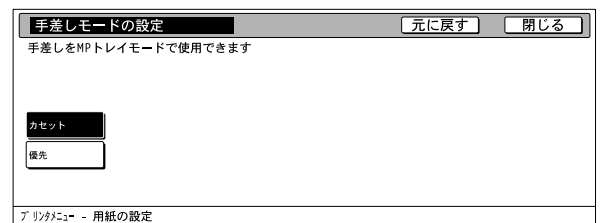
●用紙設定画面の表示

1

“用紙の設定”を押してください。「用紙の設定」画面が表示します。

2

▲▼で設定項目を選択し、“設定変更”を押してください。
選択した設定項目の設定画面が表示します。
手差しモード：①手差しモードの設定
給紙元：②給紙元の設定
両面印刷モード：③両面印刷モードの選択
排紙先：④排出先の設定
A4/Letter共通使用：⑤A4/Letter共通使用のオン／オフ設定
カセット切り替え：⑥カセット切り替えの設定

3

設定値を選択し、“閉じる”を押してください。「用紙の設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

4-8 RAM ディスクの設定

RAM ディスク機能

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクとはメモリの一部を利用したバーチャルディスク装置で、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート(印刷に要する全体時間の短縮)、データの保存や読み出しが行えます。また、e-MPS 機能（P4-47）の［クイックコピー］、［プライベートプリント／ジョブ保留］が使用できます。
オプションのハードディスクを装着すると、RAM ディスク機能は使用できません。

重要

RAM ディスクに書き込まれたデータは、プリンタをリセットしたりメインスイッチを OFF（O）にした場合には消去されますのでご注意ください。
RAM ディスクは下記の設定の内、「RAM ディスクサイズの設定」から設定されます。したがって RAM ディスクの設定値によっては、プリンタの印刷速度が落ちたり、メモリ不足が発生したりする場合がありますのでご注意ください。

RAM ディスク機能は、初期設定では無効になっています。RAM ディスク機能を使用する場合は、下記の設定を行ってください。

RAM ディスクの設定の項目について

RAM ディスクの設定で設定できる項目は下表の 10 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

	設定内容	選択項目	備考
①	**RAM ディスクのオン／オフ設定**	ON、OFF	ソート出力する場合は RAM ディスクを ON に設定する
②	**データの書き込み** データの書き込みを選択するとデータ受信待機中になり、ホスト（PC）からデータを送信します。	データの書き込み	“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示
③	**パーティションリストの印刷**	パーティションリストの印刷	“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示
④	**RAM ディスクサイズの設定** RAM ディスクで使用するメモリを設定します。設定できる最大値は実装されているメモリからシステムが使用するメモリ（24MB）を除いたメモリサイズです。	01 ～ 99 MByte	“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示
⑤	**データの読み込み** 選択した RAM ディスク内のデータを読み込みます。	表示されるデータのパーティション名から選択	・RAM ディスク内に対応するデータがある場合に表示 ・“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示
⑥	**プログラムデータの読み込み** 選択した RAM ディスク内のプログラムデータを読み込みます。	表示されるプログラムのパーティション名から選択	・RAM ディスク内に対応するプログラムデータがある場合に表示 ・“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示
⑦	**データの削除** 選択した RAM ディスク内のデータを削除します。	表示されるデータのパーティション名から選択	・RAM ディスク内に対応するデータがある場合に表示 ・“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示
⑧	**フォントデータの削除** 選択した RAM ディスク内のフォントデータを削除します。	表示されるフォント名から選択	・RAM ディスク内に対応するフォントデータがある場合に表示 ・“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示

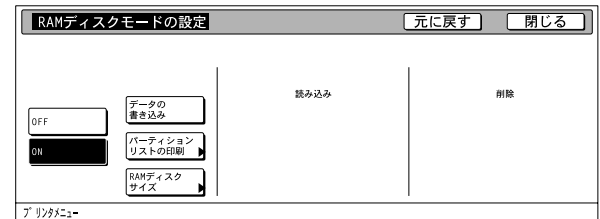
	設定内容	選択項目	備考
⑨	**プログラムデータの削除** 選択した RAM ディスク内のプログラムデータを削除します。	表示されるプログラムのパーティション名から選択	・RAM ディスク内に対応するプログラムデータがある場合に表示 ・“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示
⑩	**マクロデータの削除** 選択した RAM ディスク内のマクロデータを削除します。	表示されるマクロのパーティション名から選択	・RAM ディスク内に対応するマクロデータがある場合に表示 ・“① RAM ディスクのオン／オフ設定”で ON が設定されているときに表示

●RAM ディスク設定画面の表示

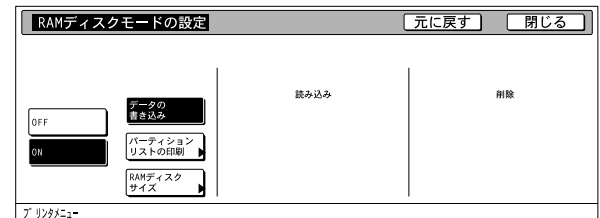
“RAM ディスクモード”を押してください。「RAM ディスクモードの設定」画面が表示します。

①RAM ディスクのオン／オフ設定

“ON”を押してください。RAM ディスクの各設定が可能になります。

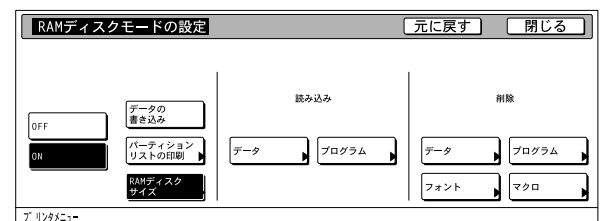
・OFF にすると、RAM ディスクの各設定はできません。

②データの書き込み

“データの書き込み”を押してください。「プリンタ基本」画面に戻り、データの書き込みの準備が始まります。

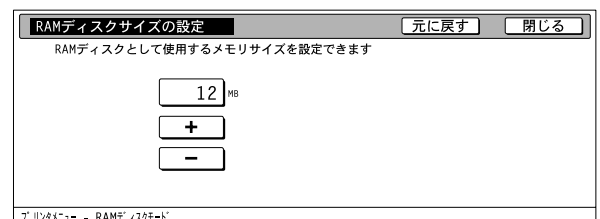
・パソコンからデータを受信すると、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示し、その後「しばらくお待ちください」が表示します。

③パーティションリストの印刷

“パーティションリストの印刷”を押してください。パーティションリストが印刷されます。

④RAM ディスクサイズの設定

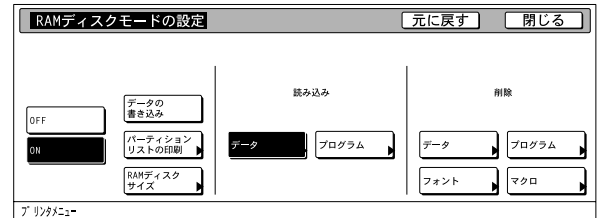
1 “RAM ディスクサイズ”を押してください。

2 “+”または“−”を押し、使用するメモリサイズを設定してください。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

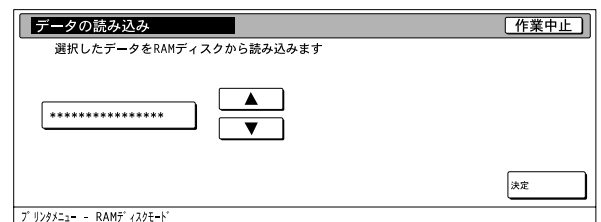
3

入力が完了しましたら、“閉じる”を押してください。
「RAM ディスクモードの設定」画面に戻ります。

⑤データの読み込み

1

読み込み項目の“データ”を押してください。

2

▲▼で読み込みたいデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「RAM ディスクモードの設定」画面に戻ります。

3

“決定”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、データの読み込みが始まります。
・データの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑥プログラムデータの読み込み

1

読み込み項目の“プログラム”を押してください。

2

▲▼で読み込みたいプログラムデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「RAM ディスクモードの設定」画面に戻ります。

3

“決定”を押してください。「プリンタ基本」画面に戻り、プログラムデータの読み込みが始まります。
・プログラムデータの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑦データの削除

1 削除項目の“データ”を押してください。

2 ▲▼で削除したいデータを選択してください。

・“作業中止”を押すと、「RAM ディスクモードの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。「プリンタ基本」画面に戻り、データの削除が始まります。

・データの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑧フォントデータの削除

1 削除項目の“フォント”を押してください。

2 ▲▼で削除したいフォントデータを選択してください。

・“作業中止”を押すと、「RAM ディスクモードの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。「プリンタ基本」画面に戻り、フォントデータの削除が始まります。

・フォントデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑨プログラムデータの削除

1 削除項目の“プログラム”を押してください。

2 ▲▼で削除したいプログラムデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「RAM ディスクモードの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、プログラムデータの削除が始まります。
・プログラムデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑩マクロデータの削除

1 削除項目の“マクロ”を押してください。

2 ▲▼で削除したいマクロデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「RAM ディスクモードの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、マクロデータの削除が始まります。
・マクロデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

4-9 ハードディスクの設定

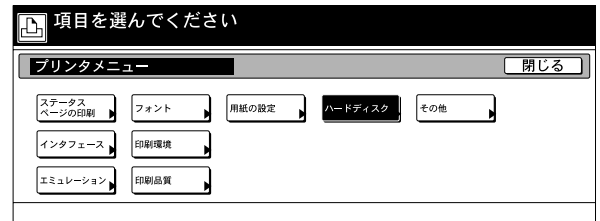
ハードディスクについては「5. オプション」（P5-1）をご覧ください。

ハードディスクの設定の項目について

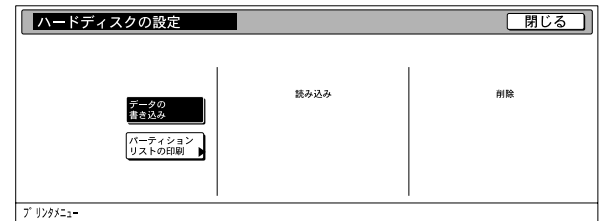
ハードディスクの設定で設定できる項目は下表の 9 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

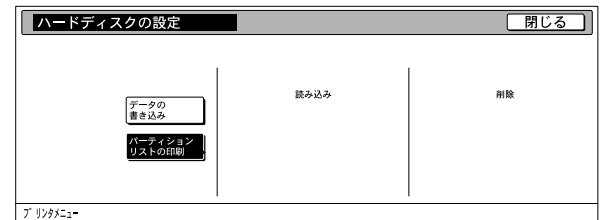
	設定内容	選択項目	備考
①	**データの書き込み** データの書き込みを選択するとデータ受信待機中になり、ホスト（PC）からデータを送信します。	データの書き込み	
②	**パーティションリストの印刷**	パーティションリストの印刷	
③	**ハードディスクのフォーマット** ハードディスクのフォーマットを選択するとハードディスクのフォーマットを開始します。	ハードディスクのフォーマット	ハードディスクフォーマットエラーが起きた場合にフォーマットする
④	**データの読み込み** 選択したハードディスク内のデータを読み込みます。	表示されるデータのパーティション名から選択	ハードディスク内に対応するデータがある場合に表示
⑤	**プログラムデータの読み込み** 選択したハードディスク内のプログラムデータを読み込みます。	表示されるプログラムのパーティション名から選択	ハードディスク内に対応するプログラムデータがある場合に表示
⑥	**データの削除** 選択したハードディスク内のデータを削除します。	表示されるデータのパーティション名から選択	ハードディスク内に対応するデータがある場合に表示
⑦	**フォントデータの削除** 選択したハードディスク内のフォントデータを削除します。	表示されるフォント名から選択	ハードディスク内に対応するフォントデータがある場合に表示
⑧	**プログラムデータの削除** 選択したハードディスク内のプログラムデータを削除します。	表示されるプログラムのパーティション名から選択	ハードディスク内に対応するプログラムデータがある場合に表示
⑨	**マクロデータの削除** 選択したハードディスク内のマクロデータを削除します。	表示されるマクロのパーティション名から選択	ハードディスク内に対応するマクロデータがある場合に表示

●ハードディスク設定画面の表示

“ハードディスク”を押してください。「ハードディスクの設定」画面が表示します。

①データの書き込み

“データの書き込み”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、データの書き込みの準備が始まります。

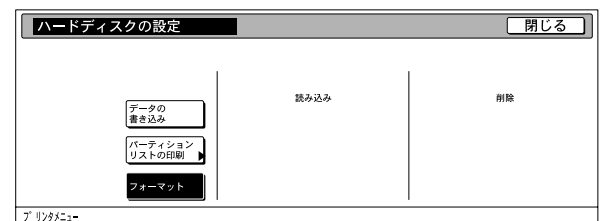
・パソコンからデータを受信すると、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示し、その後「しばらくお待ちください」が表示します。

②パーティションリストの印刷

“パーティションリストの印刷”を押してください。パーティションリストが印刷されます。

③ハードディスクのフォーマット

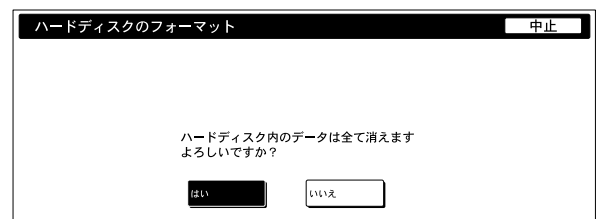
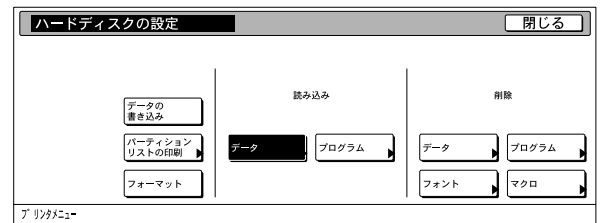
1

“フォーマット”を押してください。

・ハードディスクのフォーマットはハードディスクフォーマットエラーが起きた場合にのみできます。それ以外はハードディスクのフォーマットはできません。

2

“はい”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、ハードディスクのフォーマットが始まります。

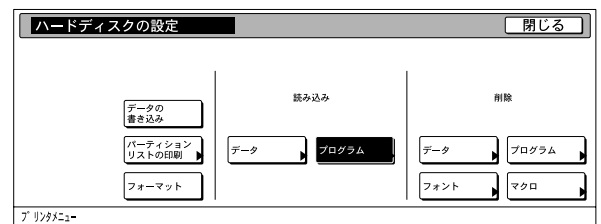
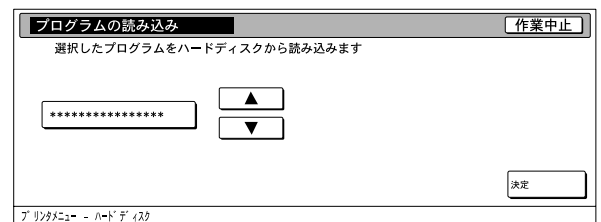
・ハードディスクのフォーマット中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

・“いいえ”を押すと、ハードディスクのフォーマットはされません。「ハードディスクの設定」画面に戻ります。

④データの読み込み

1 読み込み項目の“データ”を押してください。

2 ▲▼で読み込みたいデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「ハードディスクの設定」画面に戻ります。

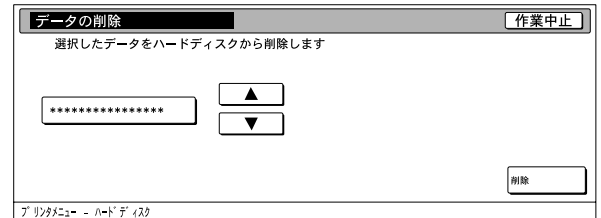
3 “決定”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、データの読み込みが始まります。
・データの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

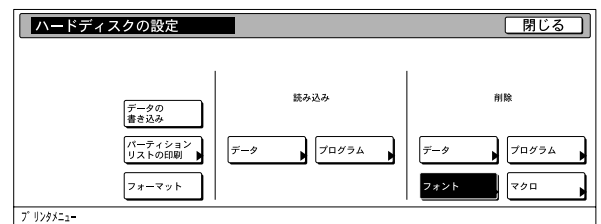
⑤プログラムデータの読み込み

1 読み込み項目の“プログラム”を押してください。

2 ▲▼で読み込みたいプログラムデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「ハードディスクの設定」画面に戻ります。

3 “決定”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、プログラムデータの読み込みが始まります。
・プログラムデータの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑥データの削除

1 削除項目の“データ”を押してください。

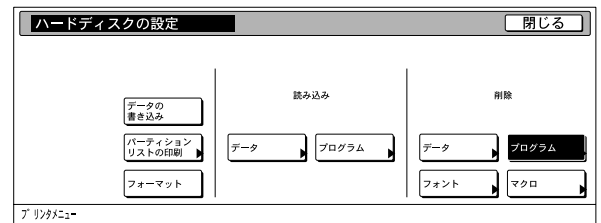
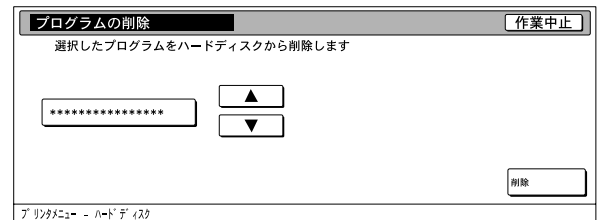
2 ▲▼で削除したいデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「ハードディスクの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、データの削除が始まります。
・データの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑦フォントデータの削除

1 削除項目の“フォント”を押してください。

2 ▲▼で削除したいフォントデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「ハードディスクの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、フォントデータの削除が始まります。
・フォントデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑧プログラムデータの削除

1 削除項目の“プログラム”を押してください。

2 ▲▼で削除したいプログラムデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「ハードディスクの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、プログラムデータの削除が始まります。
・プログラムデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑨マクロデータの削除

1 削除項目の“マクロ”を押してください。

2 ▲▼で削除したいマクロデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「ハードディスクの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、マクロデータの削除が始まります。
・マクロデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

4-10 メモリカードの設定

メモリカード

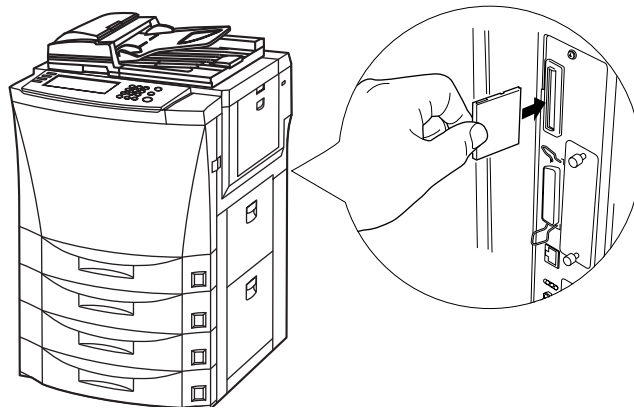
本機にはメモリカードスロットを装備しています。

フォントを保存したメモリカードを使って内蔵フォント以外のフォントで印刷したり、印刷データの保存や読み出しが行えます。

メモリカードの挿入

メモリカードは表面を奥側にして、差し込んでください。

重要

メモリカード を抜き差しする場合は、必ず本体のメインスイッチを OFF（O）にしてください。

メモリカードの設定の項目について

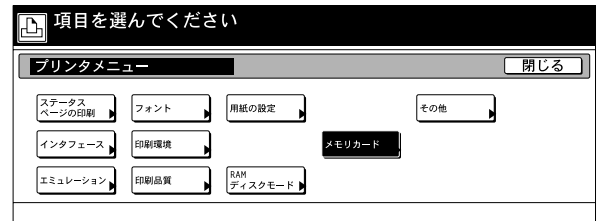
メモリカードの設定で設定できる項目は下表の 11 種類の項目があります。

プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

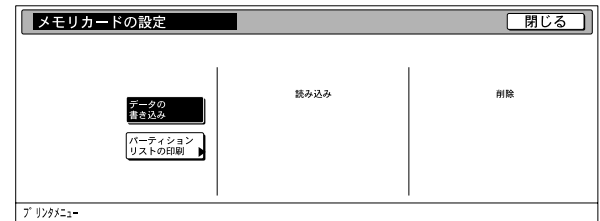
	設定内容	選択項目	備考
①	**データの書き込み** データの書き込みを選択するとデータ受信待機中になります。ホスト（PC）からデータを送信します。	データの書き込み	メモリカードが挿入されている場合に表示
②	**パーティションリストの印刷**	パーティションリストの印刷	メモリカードが挿入されている場合に表示
③	**メモリカードのフォーマット** フォーマットを選択するとメモリカードのフォーマットを開始します。	フォーマット	メモリカードが挿入されている場合に表示（メモリカードのフォーマットをする場合は必ず本機で行なってください。他の機器でフォーマットされたメモリカードは使用できません）
④	**データの読み込み** 選択したメモリカード内のデータを読み込みます。	表示されるデータのパーティション名から選択	メモリカード内に対応するデータがある場合に表示
⑤	**フォントの読み込み** メモリカード内のフォントデータを一括で読み込みます。	フォントの読み込み	メモリカード内に対応するフォントデータがある場合に表示

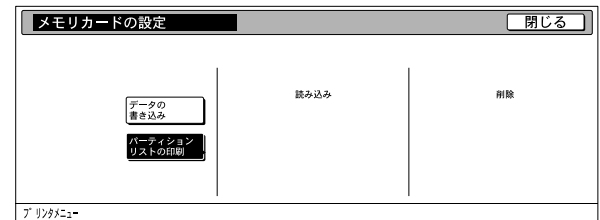
	設定内容	選択項目	備考
⑥	**プログラムデータの読み込み** 選択したメモリカード内のプログラムデータを読み込みます。	表示されるプログラムのパーティション名から選択	メモリカード内に対応するプログラムデータがある場合に表示
⑦	**マクロデータの読み込み** メモリカード内のマクロデータを一括で読み込みます。	マクロの読み込み	メモリカード内に対応するマクロデータがある場合に表示
⑧	**データの削除** 選択したメモリカード内のデータを削除します。	表示されるデータのパーティション名から選択	メモリカード内に対応するデータがある場合に表示
⑨	**フォントデータの削除** 選択したメモリカード内のフォントデータを削除します。	表示されるフォント名から選択	メモリカード内に対応するフォントデータがある場合に表示
⑩	**プログラムデータの削除** 選択したメモリカード内のプログラムデータを削除します。	表示されるプログラムのパーティション名から選択	メモリカード内に対応するプログラムデータがある場合に表示
⑪	**マクロデータの削除** 選択したメモリカード内のマクロデータを削除します。	表示されるマクロのパーティション名から選択	メモリカード内に対応するマクロデータがある場合に表示

●メモリカード設定画面の表示

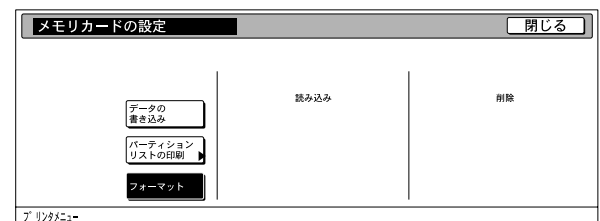
"メモリカード"を押してください。「メモリカードの設定」画面が表示します。

①データの書き込み

"データの書き込み"を押してください。プリンタ基本画面に戻り、データの書き込みの準備が始まります。

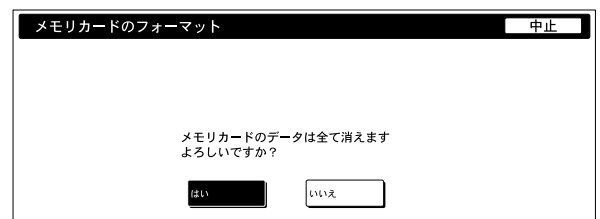
・パソコンからデータを受信すると、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示し、その後「しばらくお待ちください」が表示します。

②パーティションリストの印刷

"パーティションリストの印刷"を押してください。パーティションリストが印刷されます。

③メモリカードのフォーマット

1 "フォーマット"を押してください。

・メモリカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。

2 "はい"を押してください。プリンタ基本画面に戻り、メモリカードのフォーマットが始まります。

・メモリカードのフォーマット中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

・"いいえ"を押すと、メモリカードのフォーマットはされません。「メモリカードの設定」画面に戻ります。

④データの読み込み

1

読み込み項目の“データ”を押してください。

2

▲▼で読み込みたいデータを選択してください。

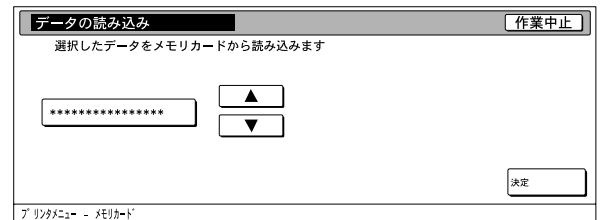
・“作業中止”を押すと、「メモリカードの設定」画面に戻ります。

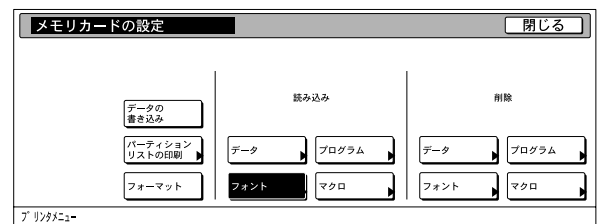
3

“決定”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、データの読み込みが始まります。

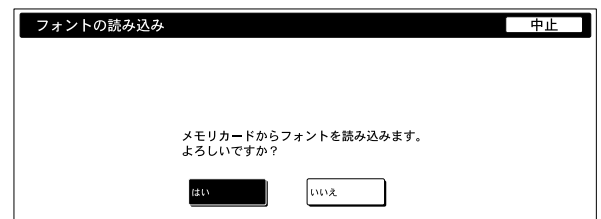
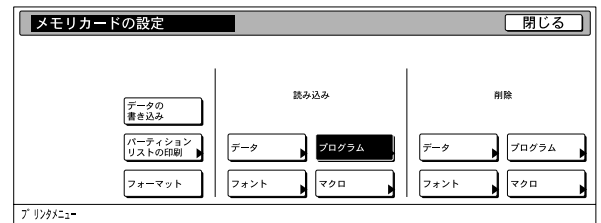
・データの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑤フォントの読み込み

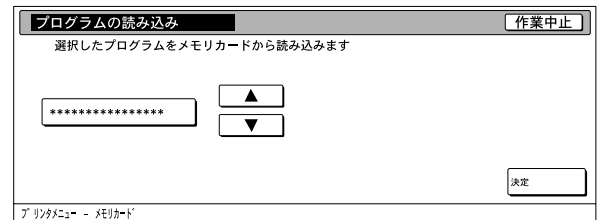
1

読み込み項目の“フォント”を押してください。

2

“はい”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、フォントの読み込みが始まります。

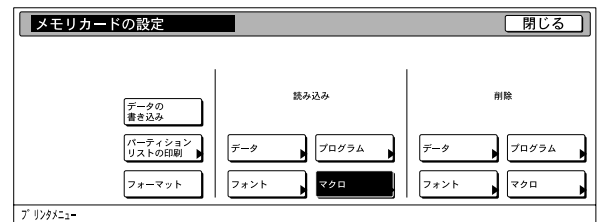
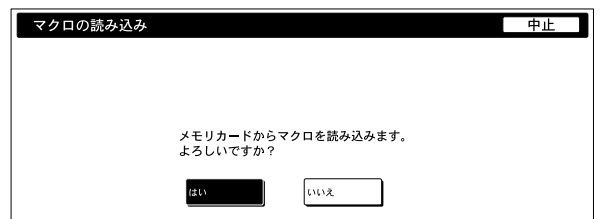
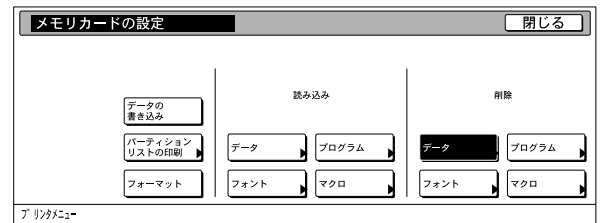
・フォントの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

・“いいえ”を押すと、フォントの読み込みはされません。「メモリカードの設定」画面に戻ります。

⑥プログラムデータの読み込み

1 読み込み項目の“プログラム”を押してください。

2 ▲▼で読み込みたいプログラムデータを選択してください。
- “作業中止”を押すと、「メモリカードの設定」画面に戻ります。

3 “決定”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、プログラムデータの読み込みが始まります。
- プログラムデータの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑦マクロデータの読み込み

1 読み込み項目の“マクロ”を押してください。

2 “はい”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、マクロデータの読み込みが始まります。
- マクロデータの読み込み中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。
- “いいえ”を押すと、マクロデータの読み込みはされません。「メモリカードの設定」画面に戻ります。

⑧データの削除

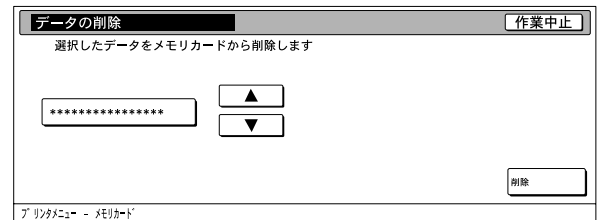
1

削除項目の“データ”を押してください。

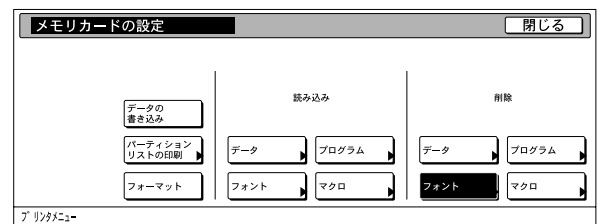
2

▲▼で削除したいデータを選択してください。

・“作業中止”を押すと、「メモリカードの設定」画面に戻ります。

3

“削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、データの削除が始まります。

・データの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

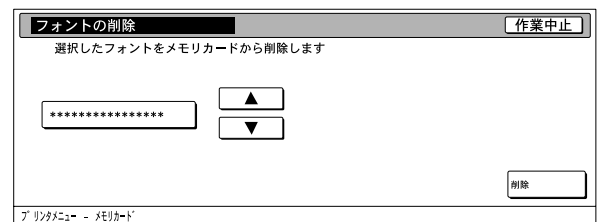
⑨フォントデータの削除

1

削除項目の“フォント”を押してください。

2

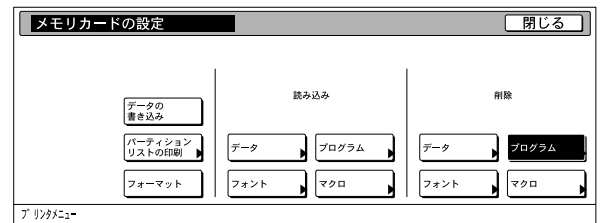
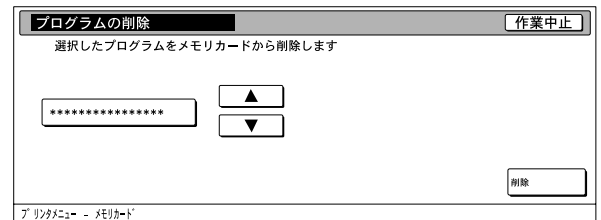
▲▼で削除したいフォントデータを選択してください。

・“作業中止”を押すと、「メモリカードの設定」画面に戻ります。

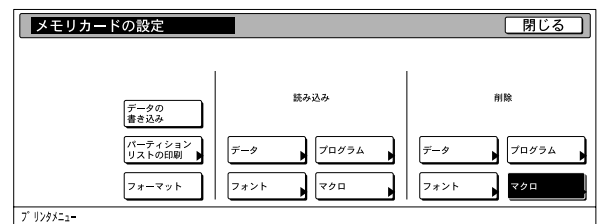
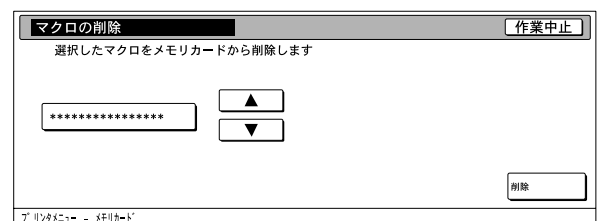
3

“削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、フォントデータの削除が始まります。

・フォントデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑩プログラムデータの削除

1 削除項目の“プログラム”を押してください。

2 ▲▼で削除したいプログラムデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「メモリカードの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、プログラムデータの削除が始まります。
・プログラムデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

⑪マクロデータの削除

1 削除項目の“マクロ”を押してください。

2 ▲▼で削除したいマクロデータを選択してください。
・“作業中止”を押すと、「メモリカードの設定」画面に戻ります。

3 “削除”を押してください。プリンタ基本画面に戻り、マクロデータの削除が始まります。
・マクロデータの削除中は、プリンタ基本画面に「データ処理中です」が表示します。

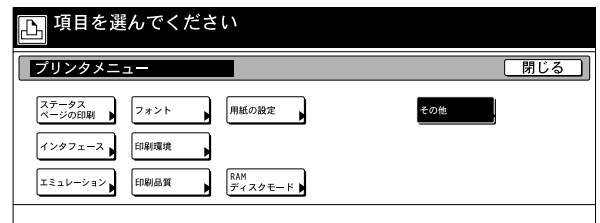
4-11 その他の設定

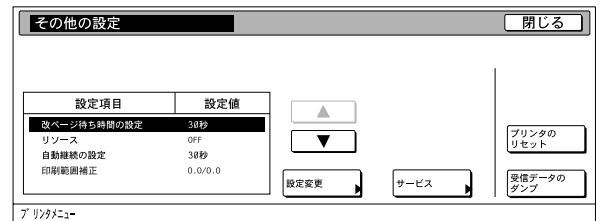
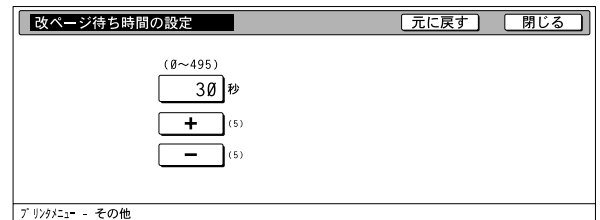
その他の設定の項目について

その他の設定で設定できる項目は下表の 7 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

	設定内容	選択項目	備考
①	**改ページ待ち時間の設定** 手動で"印刷可／解除"を押すまで改ページを行ないません。	〜 495（秒）	プリンタはコンピュータから最後のデータを受け取ったあと、コンピュータからデータを終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページを行ないます。0 に設定すると自動的に改ページを行ないません。
②	**リソース保護モードの設定** ダウンロードされているフォントやマクロなどのリソースデータを保護し、エミュレーションを切り替えてもプリンタで PCL リソースをメモリします。保護では、一時リソースは保護されませんが、自動では一時リソースも保護されます。	OFF、保護、自動	
③	**自動継続時の復帰時間の設定** 右にある備考のエラーメッセージが表示された場合、復帰時間後にエラーを解除し印刷を継続することができます。（自動継続） 自動継続するまでの時間を設定することができます。	000 〜 495（秒）、OFF	解除キーを押すと、印刷を継続することができるエラーは、以下のとおりです。 "プリンタメモリオーバーです。" "プリントオーバーランです。" "このｺｰﾄﾞは登録されていません。" "制限枚数終了のため、ﾌﾟﾘﾝﾄできません。" "RAMﾃﾞｨｽｸｴﾗｰ／解除を押してください。" "ﾌｧｲﾙｴﾗｰ／解除を押してください。"
④	**印刷範囲補正** 印刷位置を縦横方向 -76.0 mm 〜 +76.0 mm の範囲でずらして印刷することができます。パンチ穴をあけるためにマージンを作る場合にも利用できます。	＜横補正＞ -76.0 mm （左方向） 〜 +76.0mm （右方向） ＜縦補正＞ -76.0 mm （上方向） 〜 +76.0 mm （下方向）	印刷位置は用紙を縦にした場合、左上を基準に補正できます。
⑤	**サービス担当者用メンテナンスメニュー** サービス担当者が使用するメンテナンスメニューです。	ステータスページの印刷	
⑥	**プリンタのリセット** 本体の電源を落とさずにプリンタボードだけを再起動させます。	プリンタのリセット	
⑦	**受信データダンプ設定** プログラムやファイルのデバックのために、プリンタが受け取ったデータを 16 進コード化して印刷します。以下の条件で受信ダンプモードは解除されます。 ・印刷可／解除キーを押す。 ・フォームフィードタイムアウトになる。	受信データのダンプ	

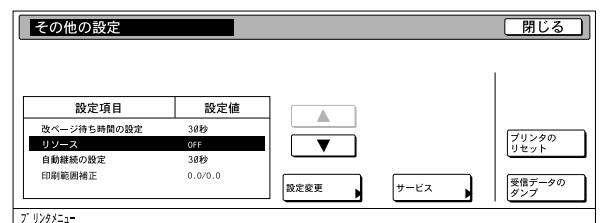
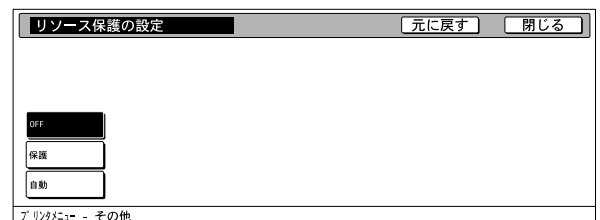
●その他の設定画面の表示

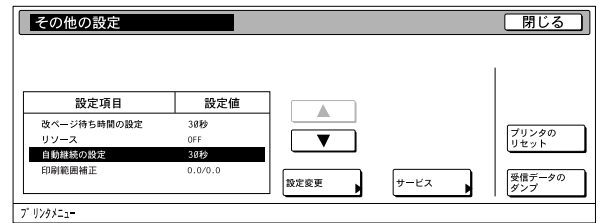
“その他”を押してください。「その他の設定」画面が表示します。

①改ページ待ち時間の設定

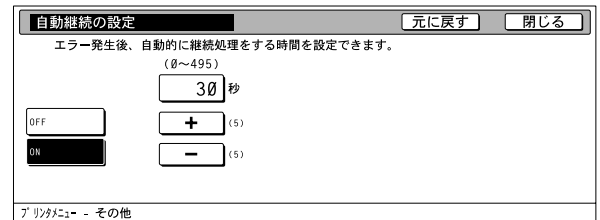
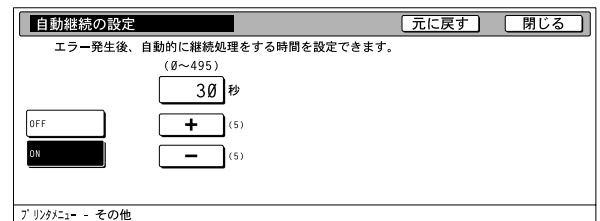
1 ▲▼で“改ページの待ち時間の設定”を選択し、“設定変更”を押してください。

2 “＋”または“－”を押し、待ち時間を設定してください。

3 入力が完了しましたら、“閉じる”を押してください。「その他の設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルには、“元に戻す”を押してください。

②リソース保護モードの設定

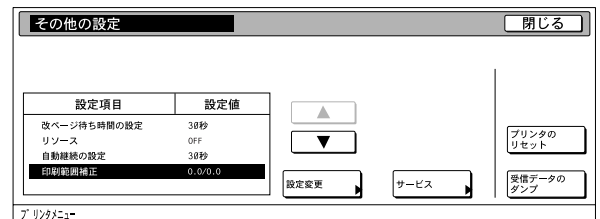
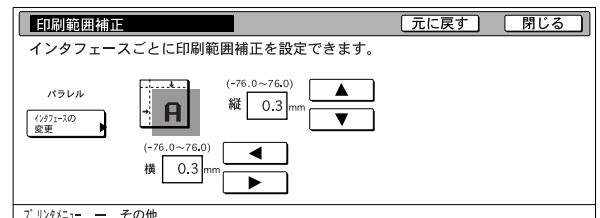
1 ▲▼で“リソース”を選択し、“設定変更”を押してください。

2 “OFF”、“保護”または“自動”を押してください。

③自動継続時の復帰時間の設定

1 ▲▼で“自動継続の設定”を選択し、“設定変更”を押してください。

2 “ON”を押してください。

・“OFF”を押すと自動継続時の復帰時間の設定はできません。

3 “＋”または“－”を押し、待ち時間を設定してください。

4 入力が完了しましたら、“閉じる”を押してください。「その他の設定」画面に戻ります。

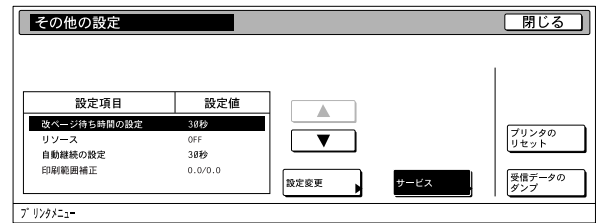
・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

④印刷範囲補正

1 ▲▼で“印刷範囲補正”を選択し、“設定変更”を押してください。

2 ▲▼、◀▶ で補正する数値を設定してください。

3 設定が完了しましたら、“閉じる”を押してください。「その他の設定」画面に戻ります。

・設定をキャンセルするには“元に戻す”を押してください。

⑤サービス用メンテナンスメニュー

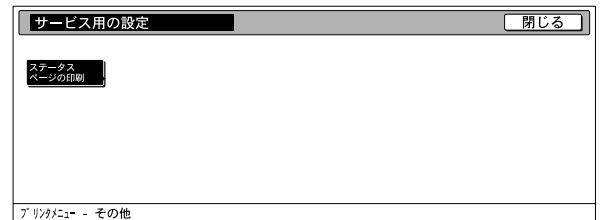
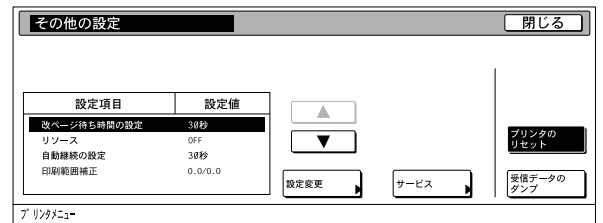
1

“サービス”を押してください。

2

・サービス担当者用ステータスページの印刷

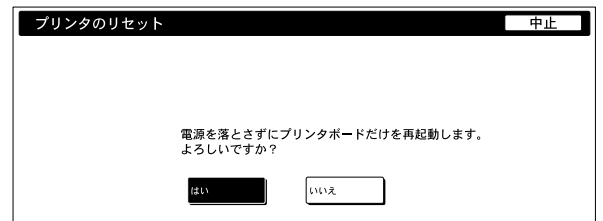
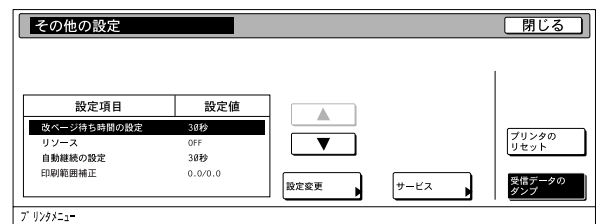
“ステータスページの印刷”を押してください。サービス担当者用ステータスページが印刷されます。

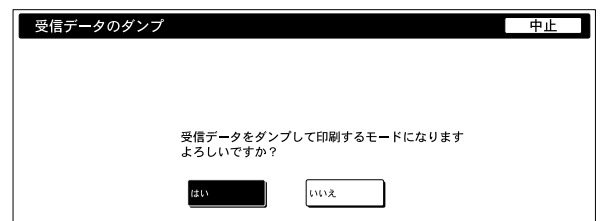
⑥プリンタのリセット

1

“プリンタのリセット”を押してください。

2

“はい”を押してください。プリンタボードだけを再起動します。
・“いいえ”を押すと、「その他の設定」画面に戻ります。

⑦受信データダンプ設定

1

“受信データのダンプ”を押してください。

2

“はい”を押してください。受信データをダンプします。
・“いいえ”を押すと、「その他の設定」画面に戻ります。

4-12 e-MPS の設定

注意：e-MPS 機能を使う場合は、RAM ディスクの設定（P4-25）を“ON”にするか、オプションのハードディスクが必要です。
e-MPS についての詳しい説明は、「2. KX ドライバ（Windows）」（P2-1）をご覧ください。
注意：RAM ディスクの設定（P4-25）を“ON”にしたとき、使用できる e-MPS 機能は、［クイックコピーの印刷］、［プライベートプリント／ジョブ保留の印刷］です。

e-MPS の設定の項目について

e-MPS の設定で設定できる項目は下表の 6 種類の項目があります。
プリンタ機能を有効に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

	設定内容	**選択項目**	**備考**
①	**クイックコピーの印刷**	クイックコピージョブの印刷	プリンタドライバの［クイックコピー］／［試し刷り後、保留］で指定した印刷ジョブを印刷します。
②	**プライベートプリント／ジョブ保留の印刷**	個人／保存ジョブの印刷	プリンタドライバの［プライベートプリント］／［ジョブ保留］で指定した印刷ジョブを印刷します。
③	**バーチャルメールボックス蓄積データの印刷**	VMB データの印刷	プリンタドライバの［バーチャルメールボックス］で設定したバーチャルメールボックスに保存した印刷ジョブを印刷します。
④	**バーチャルメールボックス蓄積データリストの印刷**	VMB リストの印刷	
⑤	**コードジョブリストの印刷**	コードジョブリストの印刷	
⑥	**e-MPS の領域割当て設定** 以下で使用するハードディスクの最大サイズを設定できます。 ・一時保存コードジョブ ・保存コードジョブ ・バーチャルメールボックス クイックコピージョブの最大登録数の設定もできます。	クイックコピージョブの個数設定、一時保存コードジョブのサイズ、保存コードジョブのサイズ	

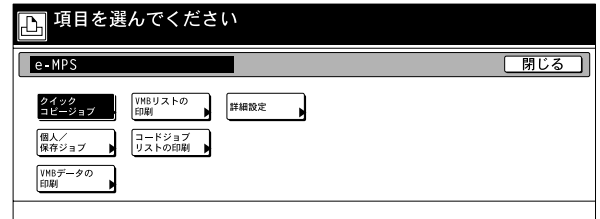
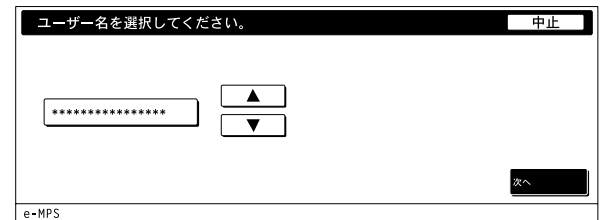
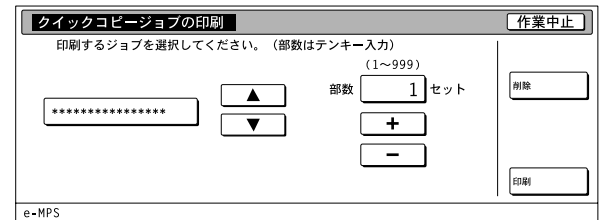
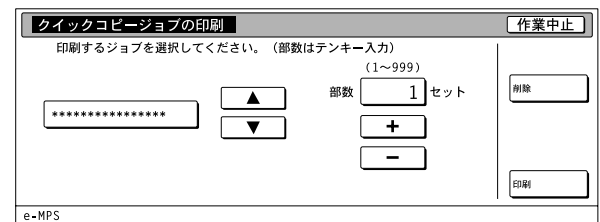
●e-MPS の設定画面の表示

“e-MPS”を押してください。「e-MPS」画面が表示します。

①クイックコピーの印刷

1
“クイックコピージョブ”を押してください。

2
▲▼でユーザー名を選択し、“次へ”を押してください。

3
▲▼で印刷するジョブを選択してください。

4
＋／－またはテンキーで、印刷する部数を設定してください。

5
“印刷”を押してください。
・“削除”を押すと選択したジョブが削除されます。

6
“印刷可／解除”を押してください。印刷します。
・印刷をキャンセルするには“キャンセル”を押してください。

②プライベートプリント／ジョブ保留の印刷

1

“個人／保存ジョブ”を押してください。

2

▲▼でユーザー名を選択し、“次へ”を押してください。

3

▲▼で印刷するジョブを選択してください。

4

＋／−またはテンキーで、印刷する部数を設定してください。

5

“印刷”を押してください。

・選択したジョブに ID が設定されている場合は、ID 入力画面が表示します。ID を入力してください。
・“削除”を押すと選択したジョブが削除されます。

6

“印刷可／解除”を押してください。印刷します。

・印刷をキャンセルするには“キャンセル”を押してください。

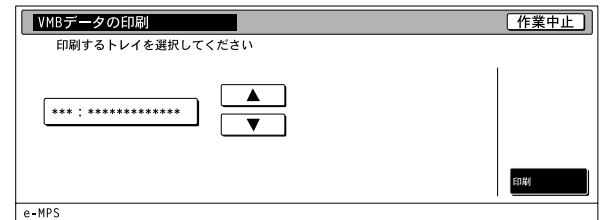
③バーチャルメールボックス蓄積データの印刷

1

“VMB データの印刷”を押してください。

2

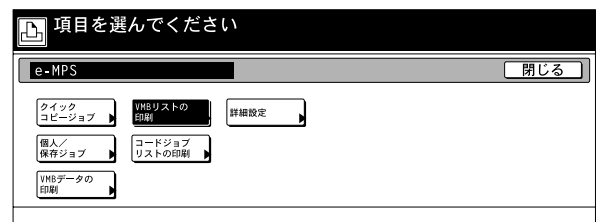
▲▼で印刷するトレイを選択し、“印刷”を押してください。

・ジョブに ID を設定している場合は、ID 入力画面が表示します。ID を入力してください。

3

“印刷可／解除”を押してください。印刷します。

・印刷をキャンセルするには“キャンセル”を押してください。

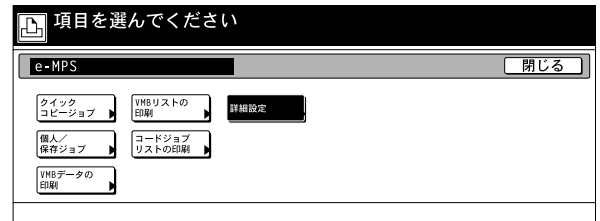
④バーチャルメールボックス蓄積データリストの印刷

“VMB リストの印刷”を押してください。バーチャルメールボックス蓄積データリストが印刷されます。

⑤コードジョブリストの印刷

“コードジョブリストの印刷”を押してください。コードジョブリストが印刷されます。

⑥e-MPS の領域割当て設定

1

“詳細設定”を押してください。

2

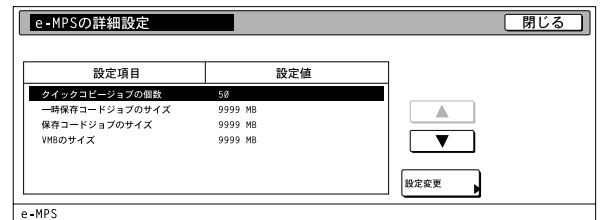
・クイックコピーの最大登録数の設定

▲▼で“クイックコピージョブの個数”を選択し、“設定変更”を押してください。

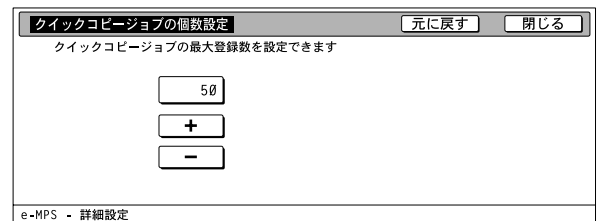
e-MPSの詳細設定　閉じる

設定項目	設定値
クイックコピージョブの個数	50
一時保存コードジョブのサイズ	9999 MB
保存コードジョブのサイズ	9999 MB
VMBのサイズ	9999 MB

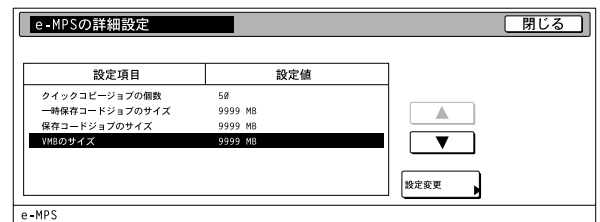
設定変更

e-MPS

3

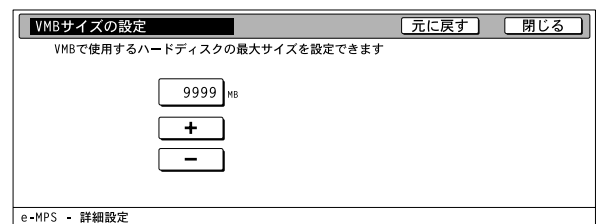
“＋”または“－”を押して、最大登録数を設定してください。

・設定をキャンセルには、“元に戻す”を押してください。

4

・一時保存コードジョブサイズ / 保存コードジョブサイズ / VMB のサイズ設定

▲▼で設定したい領域を選択し、“設定変更”を押してください。

5

“＋”または“－”を押して、最大サイズを設定してください。

・設定をキャンセルには、“元に戻す”を押してください。

5. オプション

増設メモリ

本機は標準で 32MB のメモリを搭載していますが、メモリを増設することでより複雑な印刷が可能になり、印刷処理も高速化します。メモリ増設のためにに空きスロットが 2 つ用意されています。最大 256MB までメモリを増設することができます。

オプションハードディスク

オプションハードディスクを装着すると、一度受信し、ラスタライズしたデータをハードディスクに記録しておくことができます。複数部数を印刷するときは、電子ソート機能で高速な印刷が可能になります。また、e-MPS 機能も使用することができます。

バーコードリーダ

バーコードリーダを装着すると、ジョブリスト内のバーコードを読み取って、ハードディスクに保存しているデータの印刷ができます。
詳しくは、バーコードリーダの使用説明書をご覧ください。

KPDL オプション

KPDL オプションをプリンタに追加すると、エミュレーションの KPDL（Adove PostScript と互換の京セラのページ記述言語）が使用できます。
マッキントッシュからプリントする為には、必ず KPDL オプションの追加が必要になります。

1. プリンタドライバのインストールと印刷手順

1-1 付属のプリンタドライバ

本製品には以下のドライバが付属されています。
※各ドライバは複写機本体ごとにあり、お使いの本体に合わせてご使用ください。

ドライバの種類	説明	対応 OS
KX ドライバ	オプション機器等を装着することで、プリンタ拡張機能を容易に設定することが可能であり、複合機としてのプリント機能をフルに発揮できるドライバです。	Windows 95/98 Windows NT4.0 Windows 2000 Windows Me Windows XP
Universal ドライバ	アプリケーションソフトとの互換性に優れたドライバで、WYSIWYG の実現（表示された通りの印刷）が可能です。	Windows 95/98 Windows NT4.0 Windows 2000 Windows Me Windows XP
Mac ドライバ	本製品にはマッキントッシュ用 PPD ファイルが付属します。 ドライバはマッキントッシュ標準の Laser Writer8 を使用してください。	Mac OS 7.61～9.2

※マッキントッシュを使用される方は、必ず、本体エミュレーションを「KPDL」（オプション）か、「KPDL（自動）」（オプション）に設定してください。（P4-8 を参照）
※KPDL はオプションです。
※マッキントッシュの PPD のインストール方法については、付属 CD-ROM の、「Drivers」→「Japan」フォルダ内にある「最初にお読み下さい！」をご覧下さい。

1-2 動作環境

● Windows 95/98

推奨環境	CPU	Pentium 90MHz 以上
	RAM	16MB 以上
	HDD	10MB 以上
CD-ROM ディスクドライブ		1 ドライブ

● Windows NT4.0

推奨環境	CPU	Pentium 90MHz 以上
	RAM	32MB 以上
	HDD	10MB 以上
CD-ROM ディスクドライブ		1 ドライブ

● Windows 2000

推奨環境	CPU	Pentium 133MHz 以上
	RAM	64MB 以上
	HDD	10MB 以上
CD-ROM ディスクドライブ		1 ドライブ

● Windows Me

推奨環境	CPU	Pentium 200MHz 以上
	RAM	64MB 以上
	HDD	10MB 以上
CD-ROM ディスクドライブ		1 ドライブ

● Windows XP

推奨環境	CPU	Pentium 300MHz 以上
	RAM	128MB 以上
	HDD	10MB 以上
CD-ROM ディスクドライブ		1 ドライブ

1-3 CD-ROM 挿入時の画面について

ここでは、Printing System 付属のインストール CD-ROM を挿入したときに表示される画面について説明します。

■ ドライバのインストール

クリックすると、プリンタドライバのインストールが始まります。指示にしたがってインストールを進めてください。

■ ドライバツール

クリックすると、プリンタドライバのアンインストールなどのメニューが表示されます。

[ドライバの除去] ....クリックすると、プリンタドライバのアンインストールプログラムが起動します。

[ドライバディスクの作成] ....プリンタドライバのインストールプログラムをフロッピーディスクに複製します。このフロッピーディスクを使うと、インストール CD-ROM が無くてもプリンタドライバをインストールできます。

■ ネットワーク

クリックすると、「KM-NET VIEWER」のインストールメニューが表示されます。表示される画面にしたがって KM-NET VIEWER をインストールしてください。

■ ドキュメント

Kyocera Mita プリンタドライバに付属するマニュアルの PDF 版を見ることができます。PDF 版付属マニュアルを見るためには PDF 閲覧用ソフト「Adobe Acrobat Reader 4.05J」以上が必要です。PDF 版付属マニュアルを見る前に、PDF 閲覧用ソフト「Adobe Acrobat Reader」をインストールしてください。

[Adobe Acrobat Reader のインストール]
....PDF 閲覧用ソフト「Adobe Acrobat Reader」をインストールします。

[ユーザマニュアル] ....プリンタおよびプリンタドライバのマニュアル（PDF）が表示されます。プリンタドライバのインストール方法や、お使いのプリンタの操作手順などについて説明しています。

[リリース情報、制限事項] ....このファイルには、重要な情報が記載されています。プリンタドライバをご使用になる前にお読みください。

[プログラミングマニュアル] ....PRESCRIBE のマニュアル（PDF）を参照することができます。

1-4 プリンタドライバのインストール（Windows）

以下の手順でインストールを行ってください。

※プリンタとコンピュータを接続する方法には、ローカル接続とネットワーク接続の 2 つがあります。ネットワーク接続で使用する場合は、まず、ご使用の OS の取扱説明書を参照してください。
※説明の画面は、Windows95/98 ドライバインストール時のものです。

1

Windows を起動させてください。
※他に実行中のアプリケーションがあれば、それらをすべて終了させてください。

2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。
ウィンドウが表示されます。

3

画面左の〔ドライバのインストール〕をクリックしてください。

※CD-ROM をセットしても右の画面が表示されない場合は、デスクトップの〔マイコンピュータ〕アイコンをダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4

〔セットアップウィザード〕ウィンドウが表示されます。
〔次へ〕をクリックしてください。
プリンタモデル名リストが表示されます。

5

デバイスモデル（ご使用の複写機名）の選択
ご使用の複写機名を選択して、〔次へ〕をクリックしてください。

6

ドライバタイプを選択します。
インストールするプリンタドライバを選択して〔次へ〕をクリックしてください。

※各ドライバの説明は P1-1、“1-1 付属のプリンタドライバ”を参照してください。

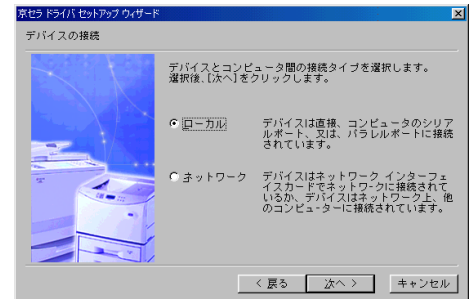
7

選択可能なオプションが表示されます。インストールする項目にチェックをし、〔次へ〕をクリックしてください。

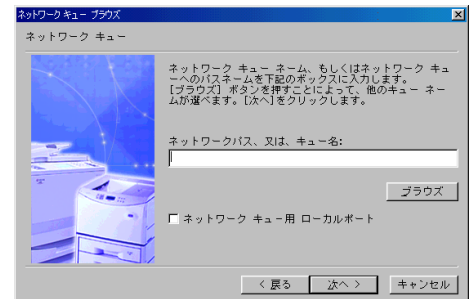
8

プリンタとコンピュータの接続タイプを選択して〔次へ〕をクリックします。

・ローカル：プリンタは直接パラレルポートに接続されている
・ネットワーク：プリンタはコンピュータとネットワークインターフェイスでネットワークに接続されている（オプションネットワークカードをご使用の場合）

※ローカルを選択したときは、手順 10 からお読みください。
ネットワークを選択したときは、手順 9 をお読みください。

9

ネットワークキューネーム、もしくはネットワークキューへのパスネームを図のボックスに入力してください。

※〔ブラウズ〕ボタンを押すと他のキューネームが選べます。
※ネットワークキュー用にローカルポートを使用する方は図下の口をチェックして手順 10 からお読みください。
その他の方は手順 11 からお読みください。

10

プリンタポートを選択します。選択可能なポートを選択して〔次へ〕をクリックしてください。

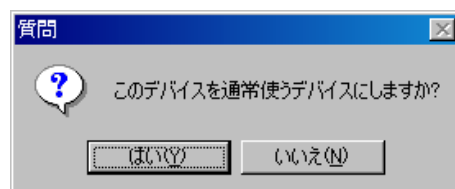
※通常は、LPT1 に設定してお使いください。
※WindowsNT,Windows2000のドライバインストールのときには、ボックスの下に〔 LPR ポートの追加〕ボタンが表示され、押すと LPR プリンタの設定ができます。

11

プリンタ名を設定します。
プリンタ名を新たに設定するか、下記のプリンタ名を選び、〔次へ〕をクリックしてください。

12

このプリンタを通常使うプリンタとして使用するかを決めます。

通常使うプリンタに設定する場合は〔はい〕、使わない場合は〔いいえ〕をクリックしてください。

13

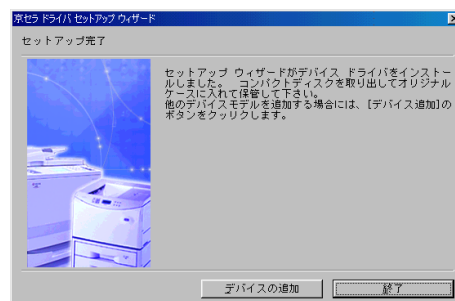
これまでの設定が表示されます。設定が正しければ〔次へ〕をクリックしてください。

ドライバのインストールが始まります。

14

終了するときは〔終了〕をクリックしてください。

※他のプリンタドライバを追加するときは〔デバイスの追加〕をクリックして同じように設定してください。

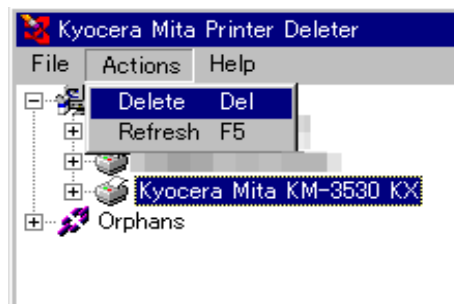
これでドライバのインストールは完了しました。

1-5 プリンタドライバのアンインストール

ここでは、プリンタドライバのアンインストール方法について説明します。
付属 CD-ROM 内にアンインストールプログラムが収録されています。

1 Windows を起動してください。

2 コンピュータの CD-ROM ドライブに、インストール CD-ROM を入れてください。
右のウィンドウが表示されます。

3 [ドライバツール]をクリックし、表示されるメニューの中から[ドライバの除去]をクリックしてください。
[Printer Deleter]ダイアログボックスが表示されます。
[+]マークをクリックすると、コンピュータにインストールされているプリンタドライバや Windows レジストリ項目がツリー状に表示されます。

4 お使いのプリンタを選択し、メニューから[Actions]-[Delete]の順にクリックしてください。選択したプリンタドライバが除去されます。
※[Del]キーを押しても、選択したプリンタドライバが除去されます。
※アンインストールするプリンタドライバに関連しない Windows レジストリは、絶対除去しないでください。

1-6 印刷手順

プリンタドライバをつかった印刷方法について説明します。ここでは、以下の条件で印刷を行った際の操作例を元に説明します。

・使用 OS：Windows 98
・ドライバ：KX ドライバ
・使用アプリケーション：ワードパッド
・印刷条件：印刷してステープルする

他の OS またはドライバをお使いの場合は、以下の手順を参考に行ってください。また各 OS およびドライバの説明は後の章に OS 別に説明していますので、あわせてお読みください。

1

●ウインドウズからプリンタドライバを設定する
タスクバーの[スタート] をクリックしてください。
スタートメニューが表示されます。

2

マウスで[設定] をポイントし、表示されたサブメニューから[プリンタ] をクリックしてください。
[プリンタ] が表示されます。

3

本プリンタのアイコンを右クリックしてください。メニューが表示されます。
メニューから[プロパティ]を選択してください。
[プロパティ]ウインドウが表示されます。

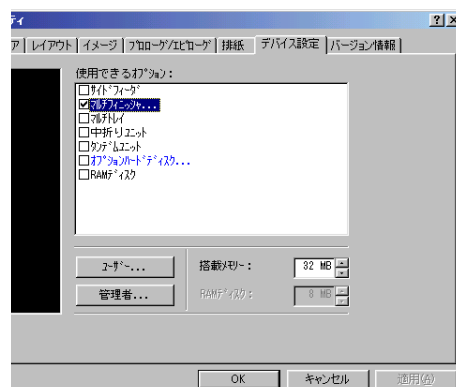
4

[デバイス設定] タブをクリックしてください。

5

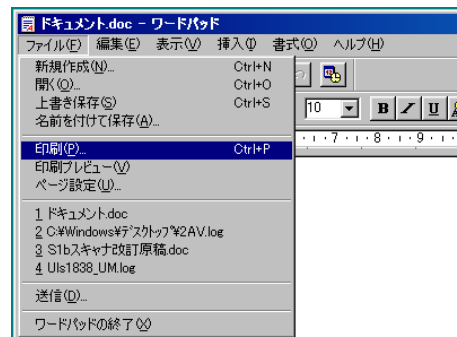
ステープルを使用可能にするため、以下の設定を行ってください。

“使用できるオプション”の項目
①使用するマルチフィニッシャにチェックを入れる。

設定ができましたら[OK]ボタンをクリックしてください。

6

●アプリケーションからの印刷
アプリケーションで印刷する書類を開いてください。

7

[ファイル]メニューから[印刷] をクリックしてください。
[印刷]ダイアログが表示されます。

8

印刷部数、印刷範囲を設定してください。
[プリンタ名] に本プリンタ名を表示させて[プロパティ] をクリックしてください。
[プロパティ] ウインドウが表示されます。

9

[排紙]タブをクリックしてください。

10

ステープルするために、以下の設定を行ってください。

①“排出先”を[トレイ×（フェイスダウン）]に設定する。
他のオプションを装着している場合は、そのオプションのトレイ（フェイスダウン）を設定してください。

“後処理機能”の項目
②[ステープル]にチェックを入れる。

11

[OK]ボタンをクリックしてください。[印刷]ダイアログに戻ります。
もう一度、[OK]ボタンをクリックしてください。印刷を開始します。

2. KX ドライバ（Windows）

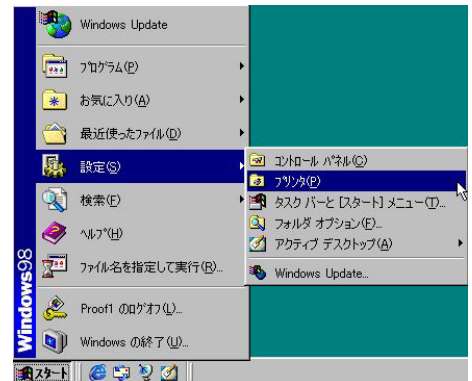
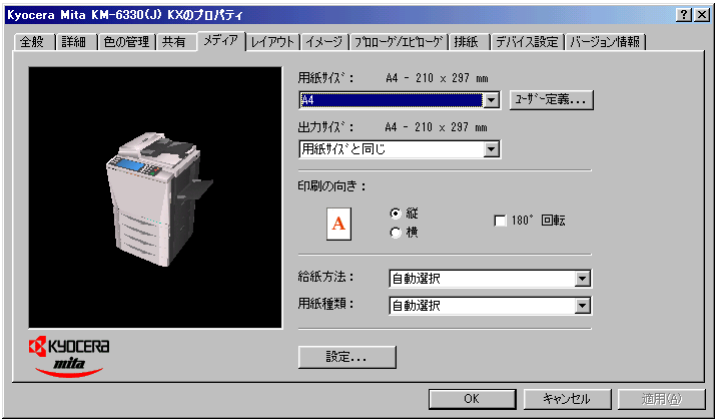
ここでは、KX ドライバの機能について説明します。
※この使用説明書では、KM-4530 の画面で説明しておりますが、それ以外の機種でも基本的な操作方法は同じです。
※手順は Windows98 での操作方法で説明しています。他のＯＳ でご使用になられる場合は以下の手順を参考に行ってください。
※ドライバのバージョンアップなどにより、ドライバの画面が異なる場合があります。
※機種により、サポートされていない機能や、オプションの装着が必要な機能があります。使用できない機能を設定した場合、その機能は無効となります。
※この使用説明書で説明されていない項目については、Windows のマニュアルを参照してください。

2-1 プロパティの設定

1 Windows を起動してください。

2 タスクバーの[スタート] ボタンをクリックしてください。
スタートメニューが表示されます。

3 [設定]にマウスポインタを移動させ、表示されるサブメニューから[プリンタ]をクリックしてください。
[プリンタ]フォルダが開きます。

4 本プリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックしてください。
プロパティウィンドウが表示されます。

2-2 メディアタブ

■ **用紙サイズ:**

使用する定型用紙または封筒のサイズを指定します。このプリンタで使用できる定型用紙または封筒は以下の通りです。

定型用紙	Letter (8 1/2 × 11 インチ)、Legal (8 1/2 × 14 インチ)、Ledger (11 × 17 インチ)、Executive（7 1/2×10 1/2インチ）、Statement (5 1/2×8 1/2インチ)、A3 、A4 、A5 、B4 、B5(JIS) B6 、ﾊｶﾞｷ、往復ﾊｶﾞｷ、ストックホーム
封　筒	洋形 2 号、洋形 4 号

■ **ユーザー定義 ...**

不定型サイズの用紙に出力する場合は、このボタンをクリックしてください。[カスタム用紙サイズ]ダイアログボックスが表示されます。詳細は P2-3、“2-2-1 カスタム用紙サイズ”を参照してください。

■ **出力サイズ:**

印刷するサイズを指定します。“用紙サイズ”と“出力サイズ”を指定するとサイズに合わせて自動変倍されます。

■ **印刷の向き:**

印刷の向きを選択します。

[縦] ....印刷の向きを縦にして印刷します。
[横] ....印刷の向きを横にして印刷します。
[180° 回転] ....[180° 回転]チェックボックスにチェックを入れると、上下を逆にして印刷します。

■ **給紙方法:**

用紙の給紙元を給紙段で指定することができます。指定できる項目は以下の通りです。また [自動選択]を選択した場合は、プリンタが自動的に最適な用紙がセットされている給紙元を選択します。初期設定では[自動選択]が選択されています。

給紙方法	自動選択、カセット 1、カセット 2、カセット 3、カセット 4、サイドフィーダ、手差し

※サイドフィーダから給紙するにはサイドフィーダの装着が必要です。

■ **用紙種類:**

用紙の給紙元を用紙種類で指定することができます。指定できる項目は以下の通りです。また用紙種類を指定しない場合は[自動選択]を選択します。初期設定では[自動選択]が選択されています。

用紙種類	自動選択、普通紙、OHP シート、ラベル、再生紙、薄紙、厚紙、カラー、封筒・はがき ユーザー定義 1 ～ 8

■ **設定 ...**

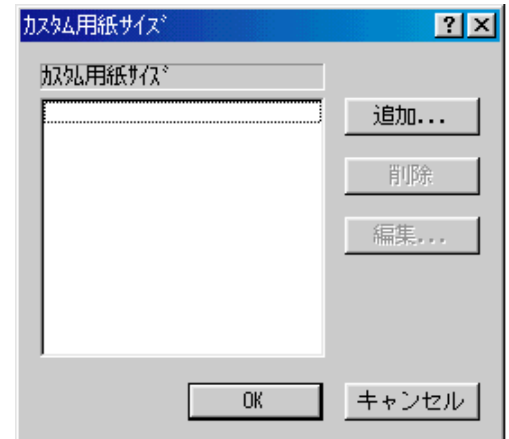
表紙を付けたり、トレイから合紙を挿入しながら印刷する場合は、このボタンをクリックしてください。[詳細機能の設定]ダイアログボックスが表示されます。詳細は P2-4、“2-2-2 詳細機能の設定”を参照してください。

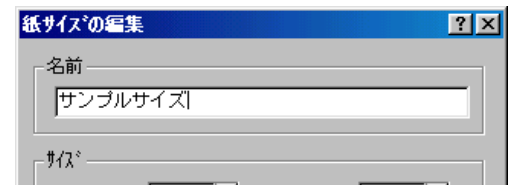
2-2-1 カスタム用紙サイズ

■ カスタム用紙サイズの設定のしかた

任意の用紙サイズで印刷する場合は以下の方法でカスタムの用紙サイズの登録を行ってください。ここで登録したカスタムサイズは、メディアタブの用紙サイズやアプリケーションの用紙サイズに表示されるようになります。

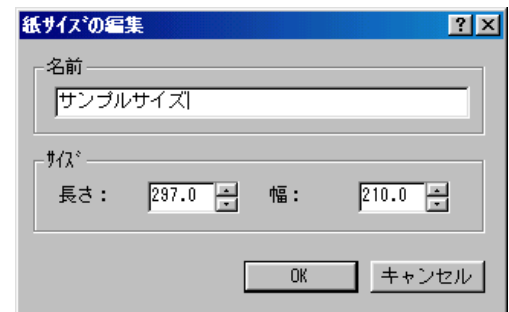
1

新規でカスタム用紙サイズを登録するときは、[追加 ...]ボタンをクリックします。[紙サイズの編集]ダイアログボックスが表示されます。
すでに登録されたカスタム用紙サイズを変更する場合は、変更する用紙サイズを選択し、[編集 ...]ボタンをクリックします。
すでに登録されたカスタム用紙サイズを削除する場合は、削除する用紙サイズを選択し、[削除]ボタンをクリックします。

2

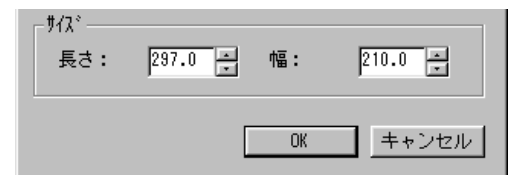
登録するサイズの名称を[名前]に入力してください。
※ここで登録された名称が用紙サイズで表示されます。

3

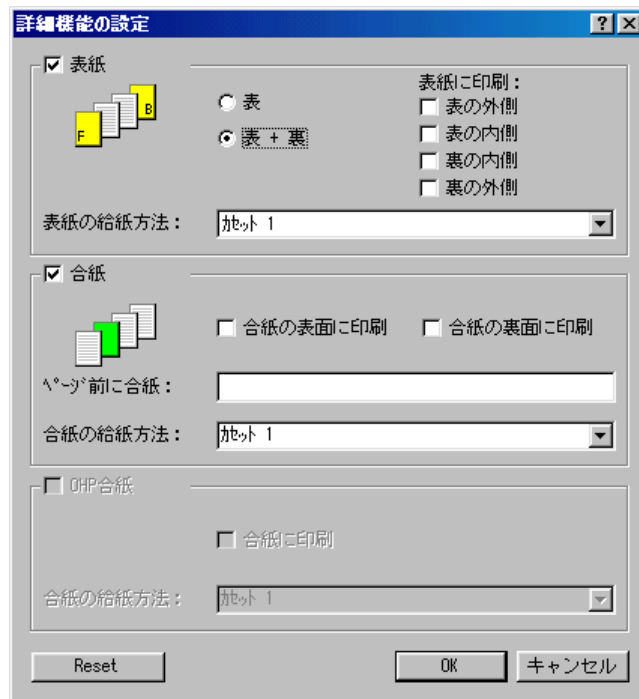
[単位]エリアで設定の単位、[サイズ]エリアで用紙の幅と長さを設定してください。
＜設定値＞
長さ： 148.0 - 432.0 [ミリ]
5.83 - 17.01 [インチ]

幅： 98.0 - 297.0 [ミリ]
3.86 - 11.69 [インチ]

※設定するときの単位（インチ / ミリ）は[デバイス設定]タブの[ユーザー設定]で設定できます。（P2-18 参照）

4

[OK]ボタンをクリックしてください。[カスタム用紙サイズ]ダイアログボックスに戻ります。

5

[OK]ボタンをクリックしてください。

2-2-2 詳細機能の設定

■ 表紙：

チェックすると、カバーページ（おもて表紙またはうら表紙）を付けて印刷できます。

[表] ....指定したトレイから給紙し、おもて表紙をつけます。

[表 + 裏] ....指定したトレイから給紙し、おもて表紙とうら表紙をつけます。

[表紙に印刷] ....表紙に印刷するときは、印刷したい箇所をチェックしてください。おもて表紙の内側 / 外側、うら表紙の内側 / 外側をそれぞれ設定することができます。

※おもて表紙の内側、うら表紙の外側に印刷するには、[レイアウト]タブの[両面印刷]を設定する必要があります。（P2-5 参照）

■ 合紙：

チェックしておくと、指定したページに用紙を挿入することができます。印刷する用紙と挿入する用紙のトレイを設定してください。

[合紙の表面に印刷] ....挿入用紙表面に印刷したいときに指定してください。

[合紙の裏面に印刷] ....挿入用紙裏面に印刷したいときに指定してください。

[ページ前に合紙] ....ドキュメントの何ページ目の前に用紙を挿入するか指定してください。

[合紙の給紙方法] ....挿入する用紙の入ったトレイをドロップダウンリストから指定してください。

※挿入用紙裏面に印刷するには、[レイアウト]タブの[両面印刷]を設定する必要があります。（P2-5 参照）

■ OHP 合紙：

指定したトレイから、OHP シートの合紙を挿入しながら印刷する設定です。

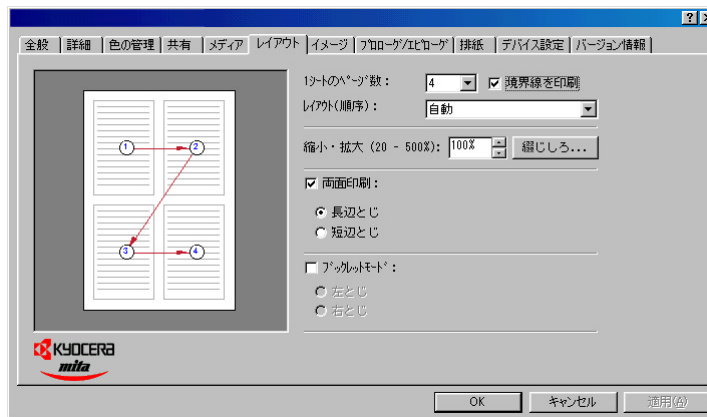
※この設定を使用するには、[メディア]タブの[用紙種類]で、“OHP シート”を選択する必要があります。（P2-2 参照）

[合紙に印刷] ....OHP シートの合紙にも印刷するときに選択してください。

[合紙に給紙方法] ....OHP シートの合紙にする用紙が入っているトレイをドロップダウンリストから指定してください。

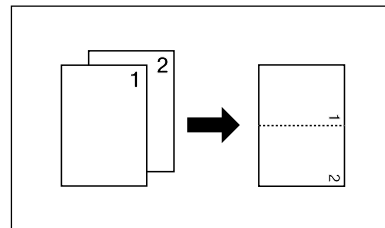
注意

・この詳細機能設定は、PDL（ページ記述言語）を、PCL5e に設定している場合は、使用できません。（P2-18 参照）

2-3 レイアウトタブ

■ 1 シートのページ数：

複数ページ（1 、2 、4 、6 、9 、12 、16 、25 ページ）の原稿を一枚の用紙で印刷します（集約印刷）。必要に応じて自動的に縮小されます。初期設定は[1]です（1 ページの原稿を一枚の用紙で印刷します）。

例：[2]の場合

　2 ページの原稿を一枚の用紙に印刷します。

■ 境界線を印刷

“1 シートのページ数”を複数ページで設定したときに、外罫線を付けることができます。

■ レイアウト（順序）

“1 シートのページ数”を複数ページで設定したときに、ページの並べ方を指定することができます。

■ 縮小・拡大（20 - 500%）

拡大 / 縮小して印刷できます。

補足

“用紙サイズ”と“出力サイズ”を指定すると、そのサイズに合わせて自動変倍されます。その場合、ここで倍率変更を行うと、自動変倍された倍率を基準に、さらに拡大／縮小します。

■ 綴じしろ設定 ...

[綴じしろ ...]ボタンをクリックすると[綴じしろ設定 ...]ダイアログボックスが表示され、用紙左側の余白の設定ができます。

■ 両面印刷

両面印刷を行うときはチェックボックスにチェックを入れ、綴じ方向を選択します。

[短辺とじ] ....両面印刷の場合に、用紙の短辺を綴じるようにして印刷する場合に選択してください。

[長辺とじ] ....両面印刷の場合に、用紙の長辺を綴じるようにして印刷する場合に選択してください。

※両面印刷が可能な用紙サイズ、用紙種類または給紙方法は以下の通りです。

用紙サイズ：Letter（8 1/2 × 11 インチ）、Legal（8 1/2 × 14 インチ）、Ledger（11 × 17 インチ）、Statement（5 1/2 × 8 1/2インチ）、Executive（7 1/2×10 1/2インチ）、A3、A4、A5、B4、B5（JIS）

用紙種類：普通紙、再生紙、カラー、ユーザー定義 1 〜 8

■ ブックレットモード

原稿を見開き両面印刷にします。仕上がった用紙を重ねて折れば、週刊誌やパンフレットのようにできます。チェックボックスにチェックを入れ、右とじ、左とじを選択できます。

2-4 イメージタブ

■ 印刷品質:
印刷品質を選択してください。

[高品質] ....プリンタのもつ最高解像度での印刷を行います。
[標準] ....600 dpi の解像度で印刷を行います。
※この機能はP2-18、“PDL（ページ記述言語）”が“PCL5e”の場合、使用できません。
[エコプリント] ....印刷に使われるトナーを節約します。印刷品質を必要としない試しだしなどの場合に使用してください。
[ユーザー定義 ...] ....印刷品質に関する設定を行います。[ユーザー定義 ...]を選択し、メニュー右側にある[...]をクリックすると、[印刷品質の設定]ダイアログボックスが表示されます。詳細はP2-7、“2-4-1 印刷品質の設定”を参照してください。

■ グレイスケール調整:
画像の明るさとコントラストを調整します。初期設定は両方とも[0]です。

[明るさ] ....画像の明るさを調整します。画像を明るめに印刷したいときは、スクロールバーをドラッグして右に移動させるか、プラスの数値を入力するかしてください。逆に暗めにするときは、スクロールバーをドラッグして左に移動させるか、マイナスの数値を入力するかしてください。
[コントラスト] ....コントラスト（画質）を調整します。シャープな画質で印刷するときは、スクロールバーをドラッグして右に移動させるか、プラスの数値を入力するかしてください。ソフトな画質で印刷したいときは、スクロールバーをドラッグして左に移動させるか、マイナスの数値を入力するかしてください。

■ TrueType フォント:
フォントの印刷方式を選択します。初期設定は[TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロード]です。

[TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロード]
....TrueType フォントをアウトラインフォントとしてプリンタにダウンロードしながら印刷します。
[TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロード]
....TrueType フォントをビットマップフォントとしてプリンタにダウンロードしながら印刷します。

2-4-1 印刷品質の設定

■ 解像度
印刷に必要な解像度を、1 インチあたりのドッド数（dots per inch ）で指定します。 [1200 dpi ファースト] 、[600 dpi] 、[300 dpi] から選択してください。エミュレーションによっては、[1200 dpi ファースト]はサポートされない場合があります。

■ KIR（スムージング）
スムージング処理により、文字や画像のエッジ部分に出るギザギザを滑らかに表現します。

■ エコプリント
印刷に使われるトナーを節約します。印刷品質を必要としない試しだしなどの場合に使用してください。

2-5　プロローグ／エピローグタブ

■ 機能を使わない

プリンタのオーバーレイ機能を使用する場合はチェックボックスのチェックを外します。オーバーレイ機能を使用すると、印刷する文書と呼び出したマクロデータを貼り合わせた形で印刷されます。

■ 追加

このボタンをクリックすることにより、あらかじめ作成したファイルを読み込むことができます。

■ 削除

このボタンをクリックすることで、読み込んだファイルを削除できます。

■ 編集

このボタンをクリックすることで、読み込んだファイルの編集ができます。

挿入箇所：

［機能を使わない］のチェックを外し、［追加］であらかじめ作成したファイルを登録しておくと以下の設定が行えます。

■ なし［未設定］

登録したファイルを使用せずに印刷します。

■ 文書のはじめ

登録したファイルをドキュメントデータのはじめに 1 度だけ送信します。

■ 文書の終わり

登録したファイルをドキュメントデータの終わりに 1 度だけ送信します。

■ ページのはじめ

複数ページのドキュメントの場合、登録したファイルを各ページの始めに送信します。

※ PDL（ページ記述言語）を PCL 5e に設定している場合に有効となります。（P2-18 参照）

■ ページの終わり

複数ページのドキュメントの場合、登録したファイルを各ページの終わりに送信します。

※ PDL（ページ記述言語）を PCL 5e に設定している場合に有効となります。（P2-18 参照）

■ ページ

［ページのはじめ］または［ページの終わり］を設定した場合にページの指定をしてください。

2-6 排紙タブ

■ **排出先:**

プリント用紙の排出先を指示します。
オプションの排出装置を装着している場合に、排出先を選択します。

[プリンタの設定] .... 本体の排出先の設定で指定した排出装置に排出します。
[サイドトレイ（××××）] .... 標準のサイドトレイに排出します。
[トレイ A（××××）] .... オプションのマルチフィニッシャの下トレイに排出します。
[トレイ B（××××）] .... マルチフィニッシャの上トレイに排出します。
[トレイ 1、2、3、4、5
（××××）] .... オプションのマルチトレイに排出します。
[中折りトレイ] .... オプションの中折りユニットに排出します。
[×××（フェイスダウン）] .... 指定のトレイにフェイスダウンで排出します。
[×××（フェイスアップ）] .... 指定のトレイにフェイスアップで排出します。

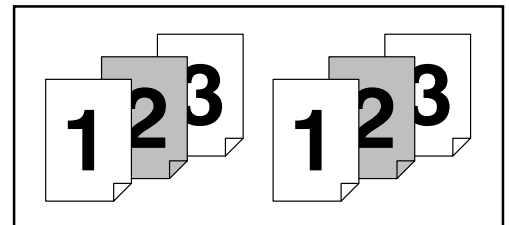
※[サイドトレイ]以外を排出先に指定する場合は、“使用できるオプション”（P2-16 参照）で装着しているオプションを設定する必要があります。

■ **部数:**

印刷する枚数を設定します。印刷枚数は 1 ～ 999 枚の間で設定できます。矢印ボタン[▲][▼]をクリックして設定するか、キーボードから入力してください。初期設定は[1]です。

■ **部単位印刷：**

複数部印刷する場合に、部数ごとに出力することができます。

例：[部単位印刷]を設定し、3 ページの原稿を 2 部出力した場合

■ ステープル

オプションのマルチフィニッシャを装着している場合に、ステープルすることができます。

※ステープルを使用するためには、以下の設定が必要です。

(1) デバイス設定タブの“使用できるオプション”の項目

・［マルチフィニッシャ］を選択する。

(2) 排紙タブ

・マルチフィニッシャの場合、“排出先”で［トレイ A（フェイスダウン）］を選択する。
・マルチトレイの場合、“排出先”で［トレイ 1、2、3、4、5（フェイスダウン）］を選択する。
・中折りユニットの場合、“排出先”で［中折りトレイ］を選択する。
・［ステープル］のチェックボックスをクリックし、ステープルの種類を選択する。
・「中央２カ所」を選択した場合、「...］ボックスをクリックすると詳細のステープルの位置（左、右、上）が選択できます。

[左上]

[右上]

[中央2ヶ所]

[中とじ]

注意

・中折りトレイを選択した場合は、ステープルの種類は、自動的に［中とじ］を選択します。
・A3、B4、Legal、Ledger の横向き原稿にステープルする場合は、[メディア]タブの“印刷の向き”で［180゜回転］を選択してください。（P2-2 参照）
・左下または右下にステープルする場合は、[メディア]タブの“印刷の向き”で［180゜回転］を選択してください。（P2-2 参照）

■ オフセット

多部数分の印刷を一部毎に左右に振る分けて排紙することができます。

(1) デバイス設定タブの“使用できるオプション”の項目

［マルチフィニッシャ］を選択する。

(2) 排紙タブ

・マルチフィニッシャの場合、“排出先”で［トレイ A（フェイスダウン）］を選択する。
・マルチトレイの場合、“排出先”で［トレイ 1、2、3、4、5（フェイスダウン）］を選択する。
・［オフセット］のチェックボックスをクリックする。

■ パンチ

マルチフィニッシャを装着している場合にパンチすることができます。

※パンチを使用するためには、以下の設定が必要です。

(1) デバイス設定タブの“使用できるオプション”の項目

［マルチフィニッシャ］を選択し、パンチユニットの種類を選択する。パンチユニットの選択は P2-16、“パンチユニット”を参照してください。

(2) 排紙タブ

・マルチフィニッシャの場合、“排出先”で［トレイ A（××××）］か、［トレイ B（××××）］を選択する。
・マルチトレイの場合、“排出先”で［トレイ 1、2、3、4、5（××××）］を選択する。
・［パンチ］のチェックボックスをクリックし、パンチ穴の種類を選択する。
・「...］ボックスをクリックすると詳細のパンチの位置（左、右、上）が選択できます。

■ 中折り

オプションの中折りユニットを装着している場合に、指定した中折りトレイに排出することができます。
※中折りユニットを使用するためには、以下の設定が必要です。
(1) デバイス設定タブの“使用できるオプション”の項目
［マルチフィニッシャ］を選択した後、［中折りユニット］を選択する。
(2) 排紙タブ
“排出先”で［中折りトレイ］を選択する。

注意

・中折りトレイを選択した場合は、ステープルの種類は、自動的に［中とじ］を選択します。

■ マルチトレイ

オプションのマルチトレイを装着している場合に、指定したマルチトレイに排出することができます。
※マルチトレイを使用するためには、以下の設定が必要です。
(1) デバイス設定タブの“使用できるオプション”の項目
［マルチフィニッシャ］を選択した後、［マルチトレイ］を選択する。
(2) 排紙タブ
“排出先”で［トレイ1、2、3、4、5（フェイスダウン）］または［トレイ1、2、3、4、5（フェイスアップ）］を選択する。

注意

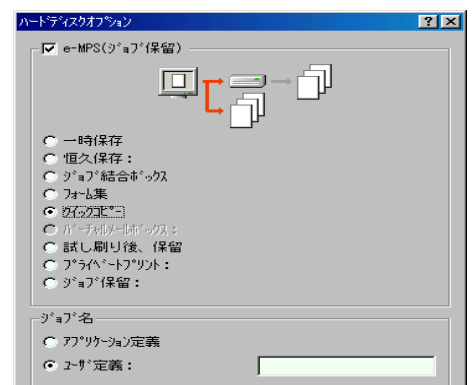
・マルチトレイを装着した場合、マルチフィニッシャの［トレイ B］は、［トレイ 5］となります。

■ ハードディスクオプション ...

[ハードディスクオプション ...]ボタンをクリックすると[ハードディスクオプション]ダイアログボックスが表示され e-MPS 機能を使用した印刷を行うことができます。詳細は P2-11、“2-6-1　e-MPS 機能（ジョブ保留）を使用した印刷”を参照してください。

2-6-1 e-MPS 機能（ジョブ保留）を使用した印刷

e-MPS 機能は、ジョブの保存機能、バーチャルメールボックス機能やバーコード印刷機能を組み合わせた新しい機能です。複数部の印刷を行う場合、最初の 1 部分の印刷データを PC からプリンタに送ります。送られた印刷データはプリンタのハードディスクに保存され、そのデータを使って残りの部数を印刷します。プリンタのハードディスクに印刷データを保存することにより、印刷速度が向上し、PC のスプール時間の短縮やネットワークの負担を軽減することができます。さらにハードディスクに印刷データを保存することによって、クイックコピーなどを使用できます。たとえば、クイックコピーを使うと、PC を起動しなくても、ハードディスクに保存しておいた印刷データを使用して、必要な文書の追加印刷が可能です。
※「ジョブ結合ボックス」、「フォーム集」を除く、e-MPS（ジョブ保留）機能を使用するにはオプションのハードディスクをプリンタに装着する必要があります。
※ RAM ディスクの設定を「ON」にすると、「試し刷り後、保留」、「プライベープリント」を使用することができます。
※ KX ドライバのハードディスク、RAM ディスクの設定については、P2-16、2-7 デバイスの設定を参照してください。

1 [ハードディスクオプション]ダイアログボックスで[e-MPS（ジョブ保留）]のチェックボックスをクリックしてください。

2

使用する機能のチェックボックスを選択してください。

[一時保存] .... 文書データをプリンタのハードディスクに保存でき、複数部印刷をする場合に印刷ジョブの印刷速度を上げることができます。[一時保存]ジョブは、保存領域が一杯になると順次消去されます。

[恒久保存] .... 文書データをプリンタのハードディスクに保存でき、複数部印刷をする場合に印刷ジョブの印刷速度を上げることができます。[恒久保存]ジョブは、保存領域が一杯になっても保存された印刷ジョブは消去されません。この場合、新たに文書データを保存するには、オプションのバーコードリーダや、付属のユーティリティソフトを使用して、印刷ジョブを削除してください。

＊[一時保存]と[恒久保存]はオプションのバーコードリーダや、付属の Printer Disk Manager、Job Manager ユーティリティ(CD-ROM に収録)を使用して、追加印刷や削除が可能です。

[ジョブ結合ボックス]
.... ジョブ同士、またはプリントジョブとコピージョブを 1 つのジョブとして保存できます。ボックス ID（1 ～ 100）を入力して、保存するボックスを指定してください。保存期間などは、本体の操作パネルから入力してください。最大 100 個のジョブ結合ボックスが使用できます。

[フォーム集] .... ジョブをフォームとして保存します。複数ページ転送した場合、最初の 1 ページを保存します。

[バーチャルメールボックス]
.... プリンタのハードディスク内のバーチャルメールボックスに文書データを保存し、必要なときに操作パネルから印刷できます。最大 255 個のバーチャルメールボックスが使用できます。印刷後、そのジョブは消去されます。

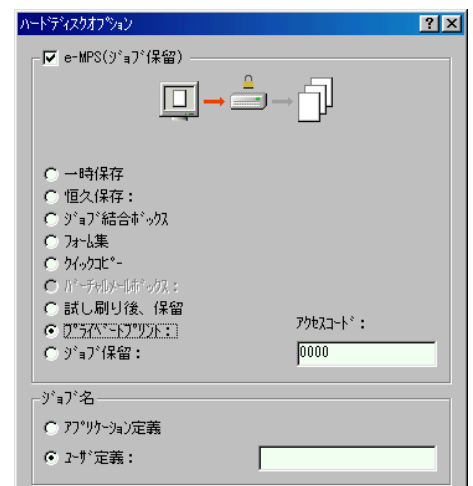
[クイックコピー] .... このモードで印刷すると、追加部数が必要になったときなどに操作パネルから必要な部数を再度印刷することができます。ハードディスクに文書データを保存できる最大件数は初期設定で 32 件（e-MPS 詳細設定で最大 50 件まで変更可能）です。設定された最大件数を超えて文書データを保存すると古いデータから順に新しいデータに上書きされます。プリンタの電源を切ると文書データは消えます。

[試し刷り後、保留] .... 複数部数の印刷時に、最初の 1 部のみが印刷され、以後の部数の印刷を保留またはキャンセルできます。印刷された 1 部の内容を確認し、問題がなければ残りの必要な部数をプリンタの操作パネル、e-MPS の設定の「クイックコピージョブ」で印刷できます。

[プライベートプリント] .... このモードで印刷を行うと、ジョブは保存されるだけで、印刷は行われません。印刷出力する際にはプリンタの操作パネルからパスワードの入力が必要となりますので、プリンタを共有している場合でも機密性を保てます。印刷後は、自動的に消去されます。また、プリンタの電源を切っても文書データは消去されます。

[ジョブ保留] .... よく使うフォームの決まった文書データをプリンタのハードディスクに保存して、必要に応じて印刷できます。プリンタの操作パネルからパスワードを入力し、印刷を行います。プリンタの電源を切っても文書データは消えません。

3

[プライベートプリント]または[ジョブ保留]を選択した場合は、[アクセスコード]に 0000 ～ 9999 までの任意の 4 桁の数字(パスワード)を入力してください。実際に印刷する際は、ここで入力した数字と同じ数字を本体の操作パネルから入力する必要があります。
[ジョブ保留]を選択した場合は、必ずパスワードを入力する必要はありません。

4

[ジョブ名]から[アプリケーション定義]または[ユーザ定義]を選択してください。[ユーザ定義]を選択した場合は任意の文字を入力してください。プリンタの操作パネルから印刷する際にここで入力した文字が操作パネルに表示されます。

5

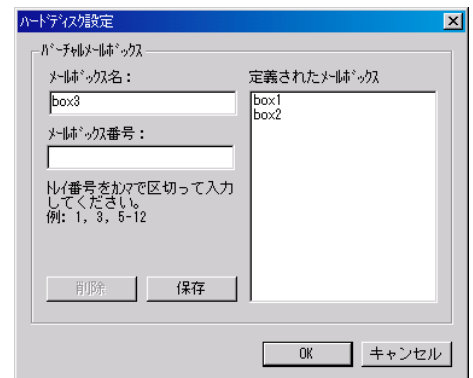
[OK]ボタンをクリックしてください。設定した機能を使用した印刷が可能になります。[Reset]ボタンをクリックすると、[ハードディスクオプション]ダイアログボックス内での設定が、設定前の状態に戻ります。

■ **バーチャルメールボックス機能を使用した印刷のしかた**

プリンタのハードディスク内のバーチャルメールボックスに文書データを保存し、必要な時に操作パネルから印刷できます。最大 255 個のバーチャルメールボックスが使用できます。プリンタの電源を切っても文書データは消えません。バーチャルメールボックス機能を使用するには、以下の手順でバーチャルメールボックスを定義しておきます。

＜バーチャルメールボックス定義＞

1

デバイス設定タブの[使用できるオプション ...]から、[オプションハードディスク ...]をクリックし、チェックが入ったら、ダブルクリックしてください。
[ハードディスク設定]ダイアログボックスが表示されます。

2

[メールボックス名]に任意の文字を入力し、[メールボックス番号]に 1 〜 255 までの数値を入力してください。[保存]ボタンをクリックすると、[定義されたメールボックス]リストボックスに[メールボックス名]で付けた名称が表示されます。
バーチャルメールボックスを削除する場合は、[定義されたメールボックス]のリストボックスで削除したいバーチャルメールボックスを選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。

3

[OK]ボタンをクリックしてください。

4

<バーチャルメールボックスの選択>
[ハードディスクオプション]ダイアログボックスで[e-MPS（ジョブ保留）]のチェックボックスをクリックし、[バーチャルメールボックス]を選択してください。

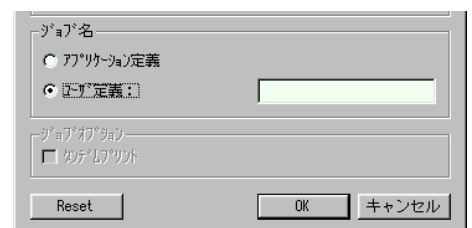
5

[選択]ボタンをクリックしてください。[バーチャルメールボックス選択]ダイアログボックスが表示されます。

6

[定義されたメールボックス]から使用するメールボックスを選択して[OK]ボタンをクリックしてください。

7

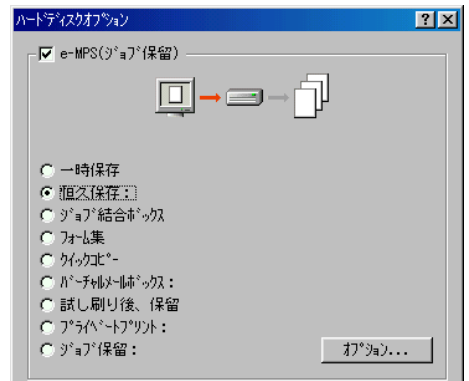
[ジョブ名]から[アプリケーション定義]または[ユーザ定義]を選択してください。[ユーザ定義]を選択した場合は任意の文字を入力してください。

8

[OK]ボタンをクリックしてください。バーチャルメールボックス機能を使用した印刷が可能になります。[Reset]ボタンをクリックすると、[ハードディスクオプション]ダイアログボックス内での設定が、設定前の状態に戻ります。

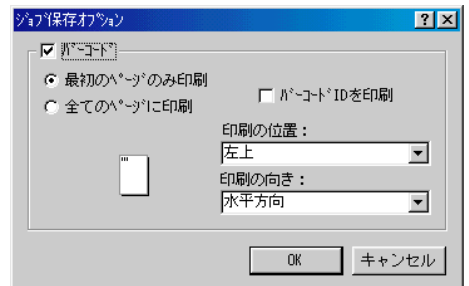
■ バーコード印刷のしかた

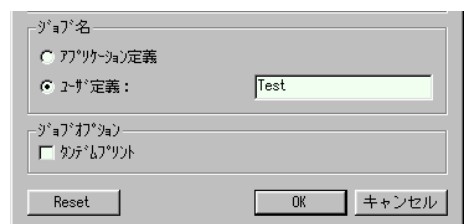
※バーコード印刷をするにはオプションのバーコードリーダが必要です。

1

[ハードディスクオプション]ダイアログボックスで[e-MPS（ジョブ保留）]のチェックボックスをクリックし、[一時保存]か、[恒久保存]を選択してください。[一時保存]か、[恒久保存]を選択すると[オプション ...]ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると[ジョブ保存オプション]ダイアログボックスが表示されます。

2

[バーコード]のチェックボックスをクリックしてください。バーコード印刷の詳細設定が行えます。
各設定が終了したら[OK]ボタンをクリックしてください。

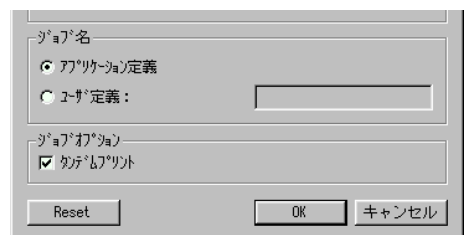
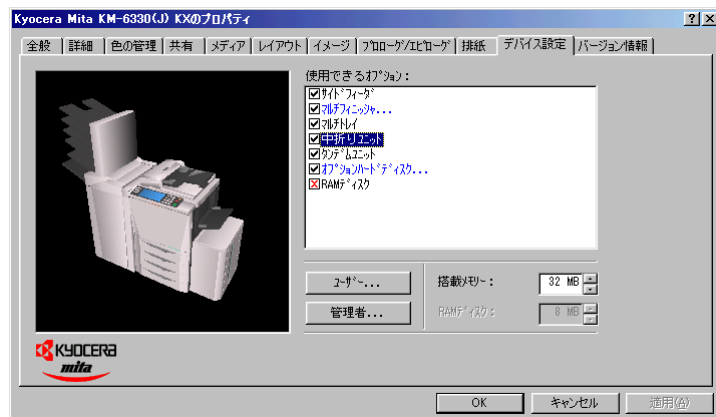
■最初のページのみに印刷
　印刷する文書の１ページ目にバーコードを印刷します。
■すべてのページに印刷
　印刷する文書の全てのページにバーコードを印刷します。
■バーコード ID を印刷
　バーコード ID を印刷する場合はチェックボックスをクリックしてください。
■印刷の位置
　バーコードを印刷する位置を設定します。
　印刷の位置：右下、右上、左下、左上
■印刷の向き
　バーコードの印刷方向を設定します。
　印刷の向き：垂直方向、水平方向

3

[ジョブ名]から[アプリケーション定義]または[ユーザ定義]を選択してください。[ユーザ定義]を選択した場合は任意の文字を入力してください。
その後、[OK]ボタンをクリックすると、バーコード印刷が可能になります。[Reset]ボタンをクリックすると、[ハードディスクオプション]ダイアログボックス内での設定が、設定前の状態に戻ります。

■ タンデムプリント

本複写機を２台連結して大量部数を自動的に分割して振り分け出力します。

※タンデムプリントを使用するためには、タンデムユニットを２台の複写機に装着後、以下の設定が必要です。

(1) デバイス設定タブの“使用できるオプション”の項目
　［タンデムユニット］を選択する。

(2) 排紙タブ
　［ハードディスクオプション ...］をクリックして、［ジョブオプション］の［タンデムプリント］にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックすると、タンデムプリントが可能になります。

2-7 デバイス設定タブ

■ 使用できるオプション:

オプションを追加したときはここでチェックボックスをクリックして設定してください。　設定すると各オプションの機能が使用できるようになります。

●マルチフィニッシャ …

マルチフィニッシャを装着したときに設定します。［マルチフィニッシャ］のチェックボックスをクリックしてから、ダブルクリックすると、［パンチユニット設定］ダイアログボックスが表示されます。

●サイドフィーダ

サイドフィーダを装着したときに設定します。

●中折りユニット

中折りユニットを装着したときに設定します。中折りユニットを設定するためにはマルチフィニッシャを設定しておく必要があります。

●タンデムユニット

タンデムユニットを装着したときに設定します。

●マルチトレイ

マルチトレイを装着したときに設定します。マルチトレイを設定するためには、フィニッシャ、またはマルチフィニッシャを設定しておく必要があります。

●パンチユニット

マルチフィニッシャを装着している場合にパンチ穴の種類を設定します。

［マルチフィニッシャ］のチェックボックスをクリックしてから、ダブルクリックすると、［パンチユニット設定］ダイアログボックスが表示されます。パンチ穴（なし、２穴、２穴と３穴、２穴と４穴）の種類を設定します。

●**オプションハードディスク**

オプションハードディスクを装着したときに設定します。
[オプションハードディスク]のチェックボックスをクリックしてから[オプションハードディスク]をダブルクリックすると[ハードディスク設定]ダイアログボックスが表示され、バーチャルメールボックスの登録ができます。

●**RAM ディスク**

RAM ディスク機能を使用するときに設定します。RAM ディスク機能の詳細は、P4-25 “第 1 章、4-8 RAM ディスクの設定”を参照してください。

※ RAM ディスクを使用するにはメモリの増設が必要です。プリンタにメモリを増設後、“搭載メモリー”（下の項目を参照）を増設したメモリに合わせて設定してください。

■ 搭載メモリー:

プリンタ本体に搭載されているメモリ容量を設定してください。ここで指定したメモリ容量が間違っていると、正常に印刷できない場合があります。

■ RAM ディスク：

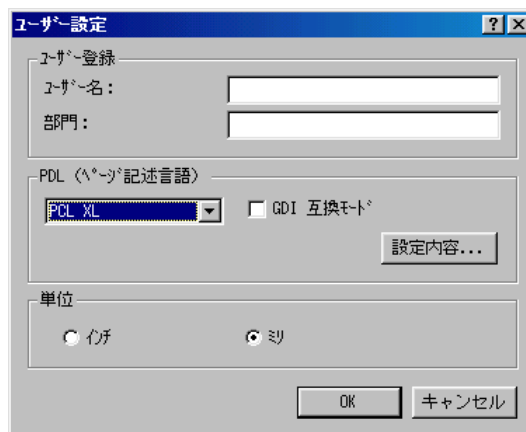
RAM ディスクに設定されているメモリ容量を設定してください。“使用できるオプション”で RAM ディスクを設定しているときに表示します。

■ ユーザー ...

ユーザー名や部門名を登録する場合は、このボタンをクリックしてください。 [ユーザー設定]ダイアログボックスが表示されます。また GDI 互換モードを選択することもできます。　詳細は P2-18、“2-7-1 ユーザー設定”を参照してください。

■ 管理者 ...

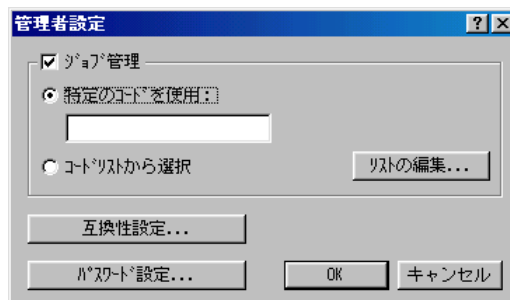
プリンタ本体で部門管理を設定している場合は、このボタンをクリックしてください。 [管理者設定]ダイアログボックスが表示されます。　詳細はP2-18、“2-7-2 管理者設定”を参照してください。

2-7-1 ユーザー設定

■ ユーザー設定
ユーザー名や部門を登録してください。

■ PDL（ページ記述言語）：
本製品で使用できるエミュレーションが表示されます。複数表示されている場合は、切り替えて使用することができます。

■ GDI 互換モード
このモードを使用すると、画面に忠実に印刷することができます。万が一、文字化けが発生したり、適切な印刷が行われない場合には、このモードをご使用ください。

■ 単位
設定の単位（インチ／ミリ）を選択してください。選択した単位でメディアタブの[カスタム用紙サイズ]やレイアウトタブの[綴じしろ ...]などの設定ができます。

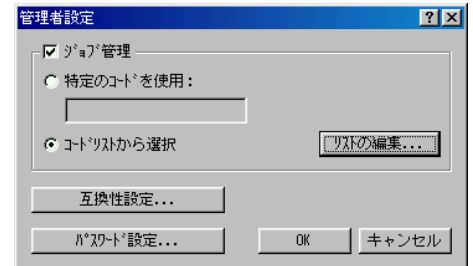
2-7-2 管理者設定

■ ジョブ管理
プリンタ本体で部門管理を設定しているときに使用します。“特定のコードを使用”に入力した値とプリンタ本体で設定した値が一致しないと、印刷できません。部門管理コードは複数登録することができます（P2-19 を参照）。部門管理コードを登録しておくと、印刷時に[プリントオプション]ダイアログボックスが表示され、部門管理コードを選択できます。
※部門管理設定をしているときは、プリンタ本体で設定した値が一致しないと、テスト印刷できません。インストール時は、インストール後に部門管理設定を確認してからテスト印刷してください。
※部門管理設定時にプリンタドライバを介さず DOS の COPY コマンドなどでプリンタに印刷指令を送っても印刷されません。

■ パスワード設定 ...
この設定にパスワードをかける場合は、このボタンをクリックしてください。 [パスワード設定]ダイアログボックスが表示されます。

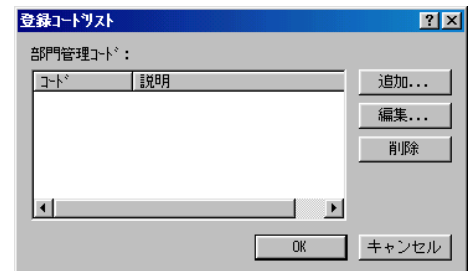
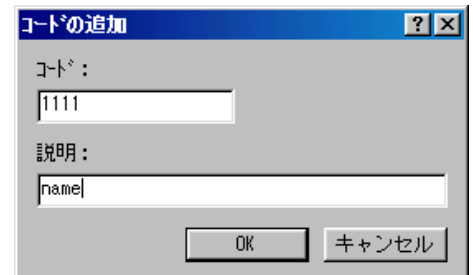
補足
設定したパスワードを忘れると、部門管理コードを変更できなくなりますので、ご注意ください。

■部門管理コードリスト登録のしかた

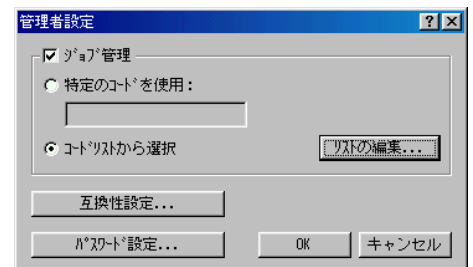
1

[ｺｰﾄﾞﾘｽﾄから選択]を選択して、
[ﾘｽﾄの編集...]ボタンをクリックしてください。
[登録ｺｰﾄﾞﾘｽﾄ]ダイアログボックスが表示されます。

2

[追加]ボタンをクリックしてください。
[ｺｰﾄﾞの追加]ダイアログボックスが表示されます。

3

“ｺｰﾄﾞ”と“説明”を入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
[登録ｺｰﾄﾞﾘｽﾄ]ダイアログボックスに部門管理コードが追加されます。
※登録した部門管理コードを修正したり削除する場合は部門管理コードを選択して[編集...]ボタンまたは[削除]ボタンをクリックしてください。
※Windows95/98/Me をご使用の方で、この設定を有効にするには、[登録ｺｰﾄﾞﾘｽﾄ]内の登録コードを印刷実行前に、あらかじめ選択する必要があります。手順４に進んでください。

● Windows95/98/Me の場合

4

[管理者設定]ダイアログボックスから、
[ｺｰﾄﾞﾘｽﾄから選択]を選択して、
[ﾘｽﾄの編集...]ボタンをクリックしてください。
[登録ｺｰﾄﾞﾘｽﾄ]ダイアログボックスが表示されます。

5

印刷を行う部門管理コードをクリックして反転表示させます。
[OK]ボタンをクリックしてください。